2-698-164-06(1)

SONY

BRAVIA

操作編

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
液晶テレビ 取扱説明書

KDL-40X2500　KDL-40X2550
KDL-46X2500　KDL-46X2550
KDL-52X2500　KDL-52X2550

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「準備編」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

操作編

このテレビの修理、お取扱い方法について、ご不明な点がありましたら、「ソニーテクニカルインフォメーションセンター」にご相談ください。

ソニーテクニカルインフォメーションセンター(直通番号)

● **ナビダイヤル**……………………… 0570-00-6470
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● **携帯電話・PHSでのご利用は** …… 0586-25-6470
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

受付時間:月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

上記の「ソニーテクニカルインフォメーションセンター」に電話がつながりにくい場合やお買い物相談については、下記の「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
下記の「お客様ご相談センター」への修理、お取扱い方法についてのご相談は、自動音声ガイダンスにしたがって、まずは<2:使用方法や故障と思われるご相談>を、次に<商品カテゴリー>の番号を押してください。
専門の相談員が対応します。

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● **ナビダイヤル***………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● **携帯電話・PHSでのご利用は***……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● **FAX** ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

Printed in Japan

この説明書は、古紙70%以上の再生紙を使用しています。

目次 操作編

テレビの設置や他機器との接続については、別冊の「準備編」をご覧ください。

みだしのマークについて

この取扱説明書では、放送と外部入力によって使える機能を次のマークで表示しています。

- 地A:地上アナログ放送で使える機能
- 地D:地上デジタル放送で使える機能
- BS:BSデジタル放送で使える機能
- CS:110度CSデジタル放送で使える機能
- 入力:本機の外部入力につないだ機器の映像を見ているときに使える機能

みだしにマークがないときは、すべての放送と外部入力で使える機能です。

次のページにつづく ⇨

目次(つづき)

本機でできること

本機のいろいろな便利機能を使いこなしてください。

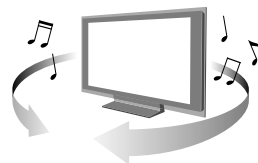
はじめてみよう！

高画質・高音質で楽しむ！

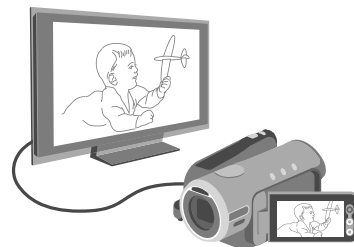
DRC-MF v2.5

ソニー独自のアルゴリズムにより従来の放送はハイビジョン並みの高画質に、ハイビジョン放送はさらに高画質な映像で映し出します。

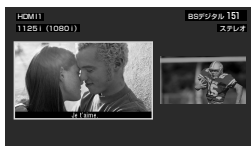
TruSurround XT Digital 5.1

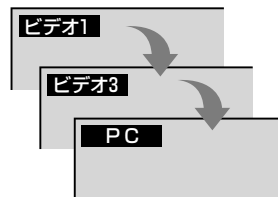
本機のスピーカーで臨場感のあるサラウンド効果を楽しめます。

HDMI入力

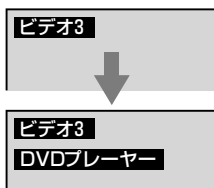
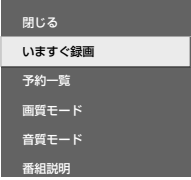
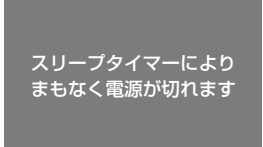
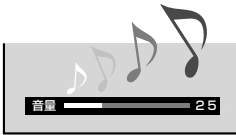
1本のケーブルで、高品質な映像と音声をデジタル伝送できます。

さらに本体側面にも装備。デジタルHDビデオカメラレコーダーなどを見たいときにすぐにつないで高画質で再生できます。

つないだ機器を楽しむための便利な機能！

番組子画面

ビデオを見ながら気になるテレビ番組を同時に見ることができます。

入力スキップ

使わない入力をとばしてすばやく見たい入力に切り換えます。

ビデオラベル

どの入力にどの機器をつないだか、わかりやすく画面表示します。

PC入力

パソコンをつないで大画面でパソコンの画像を見ることができます。

知っておきたい便利な機能！

メモ

お料理レシピや申込み先など、画面を止めてゆっくり確認できます。

消音ポン

深夜などにテレビをつけるとき、音声を出さずに電源を入れられます。

消音

チャンネルポン

見たいチャンネルがわかっているとき、電源オンと同時に選局できます。

デジタル放送録画

本機内蔵のデジタルチューナーを使って、つないだ機器にデジタル放送を録画できます。

オンタイマー

時刻を設定しておけば、テレビを目覚まし時計代わりに使えます。

スリープタイマー

時間を設定しておけば、見ながら眠ってしまっても安心です。

スリープタイマーにより
まもなく電源が切れます

サイレンススタート

電源を入れたときに、いきなりの大音量に驚かされることなく徐々に音量が上がります。

時計表示

今何時？お出かけ前の忙しい時でもテレビで簡単に確認できます。

ヘッドホン/スピーカー同時出力

大きい音で楽しむかたはヘッドホンで、他のかたはスピーカーで…。

省電力に対応した機能！

明るさセンサー

お部屋の明るさが変わると画面の明るさも自動で変わり、節電できます。

無操作電源オフ

一定時間操作しないときは自動で電源が切れます。

消費電力設定

画面の明るさを抑えて節電できます。

パワーマネジメント

パソコンからの入力信号が無くなると自動でテレビの電源が切れます。

次のページにつづく ⇨

本機でできること（つづき）

デジタル放送ならではの便利な機能！

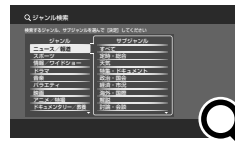
他チャンネルリスト

番組を見ながら他のチャンネルで何を放送しているかチェックできます。

番組表/番組説明

放送予定を確認して見たい番組を簡単に探せます。
どんな番組？詳しい情報を確認できます。

ジャンル検索・キーワード検索

デジタル放送のたくさんのチャンネルからお好みの番組を簡単に探せます。

デジタル放送ならではの放送！

独立データ放送

データだけの放送で、地域情報をはじめいろいろな番組が用意されています。

ラジオ放送

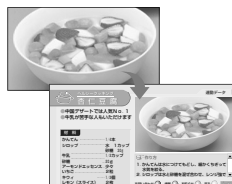
音声を中心とした放送で、番組によっては音楽CD並みの高音質で楽しめます。

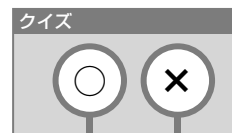
デジタル放送ではこんなこともできます！

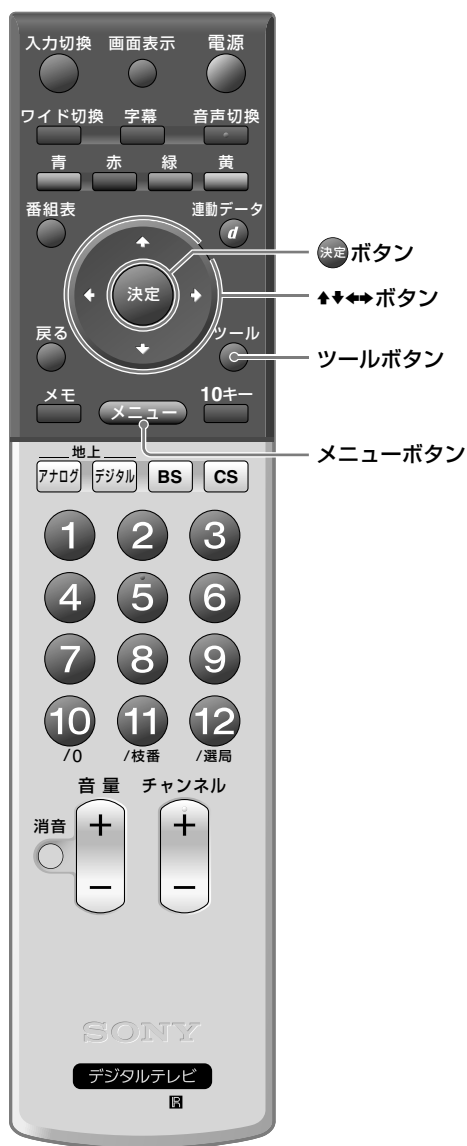
有料放送

チャンネルごとにまたは番組ごとに料金を支払う､別料金の放送です。

連動データ放送

テレビ放送を見ながら、番組情報などいろいろな情報を見ることができます。

双方向サービス

連動データ放送で画面に表示されるクイズやアンケートに答えて番組に参加できます。

画面上での操作のしかた［メニュー/ツール］

本機で行う操作の多くはメニューとツールを使います。メニューとツールでは画面を見ながら、↑↓←→と決定で操作します。

↑↓←→決定ボタンで項目を選んだり調整したりします。

メニューボタン

いろいろな放送を見る、聞く、録画する、DVDやビデオを見る、お買い上げ時の設定をするなど基本の操作が一覧表示されます。

ツールボタン

そのときできる便利な機能が一覧表示されます。

デジタル放送視聴中に表示されるツールの例

この取扱説明書では、ツールからできることを、次のマークで紹介しています。

はじめに

テレビ放送を見る 地A 地D BS CS

テレビを見るときはリモコンで操作します(本体のボタンでも基本的な操作はできます)。
あらかじめ以下の項目を確認のうえ、リモコン操作を行ってください。

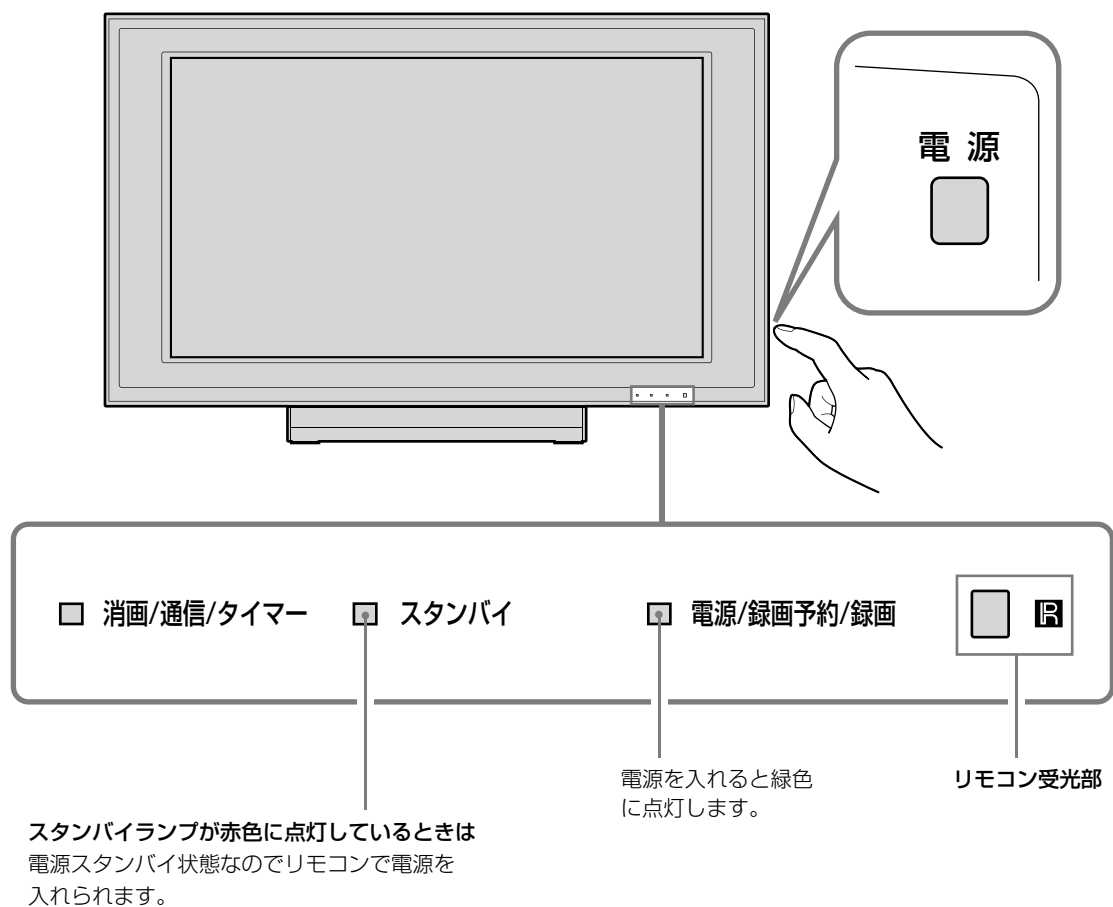
確認してください

- アンテナの接続や受信設定などはお済みですか?(詳しくは、☞別冊の「準備編」22ページをご覧ください。)
- B-CASカードは入れましたか?(詳しくは、☞別冊の「準備編」21ページをご覧ください。)
- テレビ本体の電源コードはつなぎましたか?(詳しくは、☞別冊の「準備編」27ページをご覧ください。)

本体の電源スイッチを押す。

スタンバイランプが赤色に点灯しているときは
電源スタンバイ状態なのでリモコンで電源を入れられます。

電源を入れると緑色に点灯します。

リモコン受光部

地上アナログ、地上デジタル放送をはじめて選局するときは
あらかじめ「かんたん設定」でチャンネルスキャンを行ってください(☞「準備編」33ページ)。

地上デジタル放送が開始されていない地域では
放送開始後に「かんたん設定」を行ってください(☞「準備編」33ページ)。

1 電源を入れる

 を押す。

電源スイッチを押すたびに電源が入/切されます。
リモコンの電源スイッチで電源を入れられるのは電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)のみです。

2 見たい放送に切り換える

地上 アナログ デジタル BS CS 見たい放送ボタンを押す。

- CS：110度CSデジタル放送(ボタンを押すたびにCS1/CS2に切り換わる)
- BS：BSデジタル放送
- デジタル：地上デジタル放送
- アナログ：地上アナログ放送

番組視聴中に放送を切り換えることもできます。

3 チャンネルを選ぶ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11/枝番 12/選局 見たい数字ボタンを押す。

または

チャンネル
 を押して、チャンネルを順送りで選ぶ。

チャンネル+/−ボタンを押し続けると、早く切り換わります。
他にもチャンネル番号を入力して選ぶ方法(10キー選局)もあります(☞13ページ)。

4 音量を調節する

音 量
 を押す。

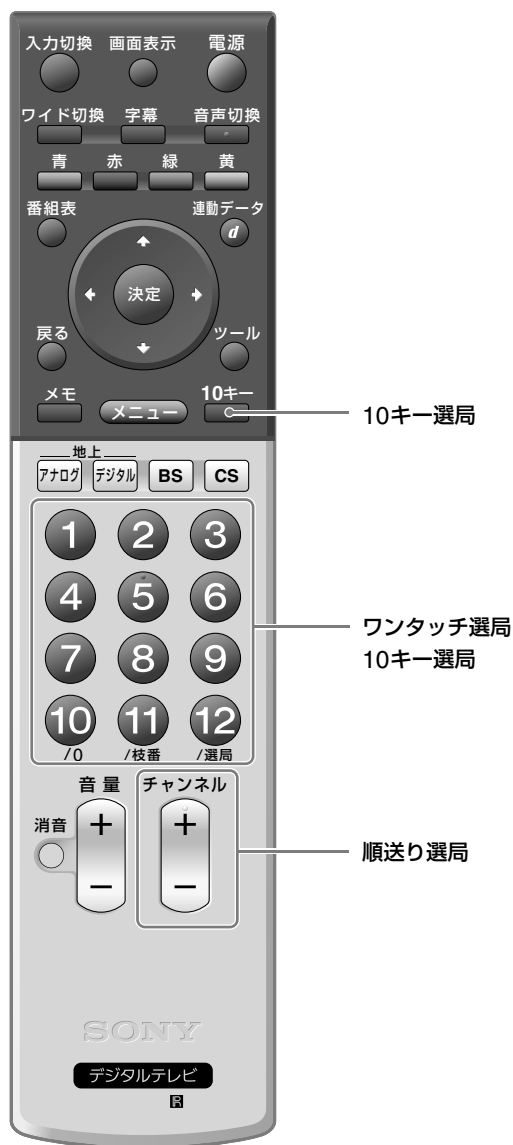
ボタンを押し続けると、早く調節できます。

次のページにつづく ⇨

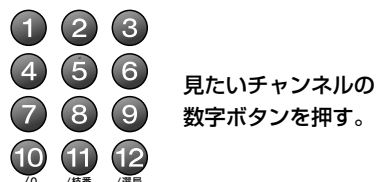
テレビ放送を見る 地A 地D BS CS (つづき)

チャンネルの選びかたいろいろ

チャンネル数や放送の種類に応じて、便利なチャンネル操作が選べます。また、お好みに応じてチャンネル設定を変えることができます。

使用するリモコンボタン

ワンタッチ選局

数字ボタンにそれぞれ登録されているチャンネルを選びます。

見たいチャンネルの数字ボタンを押す。

数字ボタンに登録されたチャンネルを変更するには

地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送ごとに変更できます。

詳しくは、下記をご覧ください。

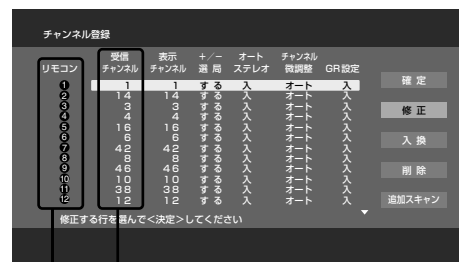
- 「地上アナログ放送の設定を変更する」(☞「準備編」58ページ)
- 「地上デジタル放送の設定を変更する」(☞「準備編」62ページ)
- 「衛星放送の設定を変更する(BS･110度CSデジタル)」(☞「準備編」65ページ)

例:地上アナログ放送のチャンネル設定

チャンネル登録

リモコン	受信チャンネル	表示チャンネル	+/− 選 局	オート ステレオ	チャンネル 微調整	GR設定
1	1	1	する	入	オート	入
2	14	14	する	入	オート	入
3	3	3	する	入	オート	入
4	4	4	する	入	オート	入
5	16	16	する	入	オート	入
6	6	6	する	入	オート	入
7	42	42	する	入	オート	入
8	8	8	する	入	オート	入
9	46	46	する	入	オート	入
10	10	10	する	入	オート	入
11	38	38	する	入	オート	入
12	12	12	する	入	オート	入

確 定
修 正
入 換
削 除
追加スキャン

修正する行を選んで<決定>してください

ご注意

地上アナログ、地上デジタルを選局するには、あらかじめチャンネルの自動設定が必要です。
BSデジタル、110度CSデジタルのチャンネルはお買い上げ時にすでに登録されています。

準備編 28ページ かんたん設定をする

番組表からの選局

番組表から現在放送中の番組を選んで、ツールで選局することもできます。

21ページ 番組表から探す

10キー選局

数字ボタンで1桁ずつチャンネル番号を押して、チャンネルを選びます。

例：011ch

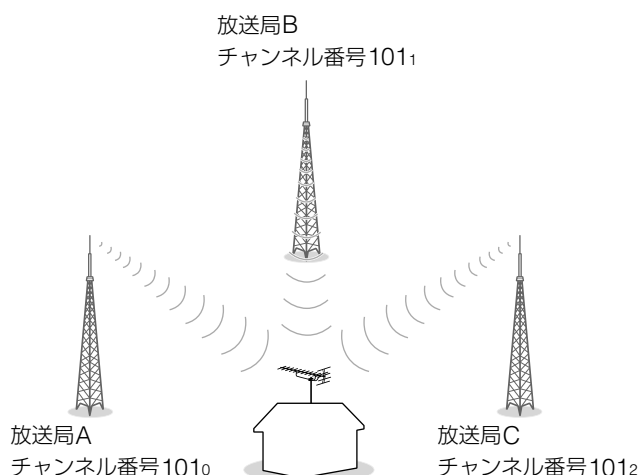
枝番のあるチャンネルを選局するには（地上デジタルのみ）

例：011₂ ch

地上デジタルの枝番について

お住まいの地域によって複数地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重なることがあります。このようなときは、3桁のチャンネル番号の後ろに枝番を付けて区別しています。

例：101チャンネルを3つの放送局で使用する場合

「0」～「2」または「1」～「3」の枝番が割り当てられます。本機では最も小さい枝番は表示されません。

順送り選局

チャンネル＋/－ボタンで順送りに選局します。

順送りしたいほう（＋または－）を押す。

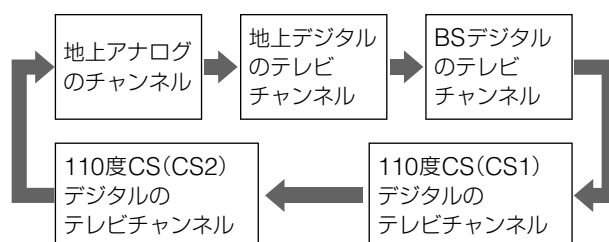
すべての放送を順送りで選局するには［シームレス選局］

放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）ごとに、チャンネル＋/－ボタンですべてのチャンネルを選べるように設定できます。放送の種類（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）を切り換える必要がありません。

1. **（メニュー）を押す。**
2. **「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。**
3. **「（アナログ放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。**
4. **「チャンネル選局」を↑↓で選び、決定を押す。**
5. **設定項目を↑↓で選び、決定を押す。**

通常	視聴中の放送と放送サービスの中でチャンネルを順送りします。 **例：地上デジタルのテレビ放送を視聴中** 地上デジタルのテレビのチャンネルのみを順送りします。
シームレス	視聴中の放送サービスのチャンネルを、放送の種類にかかわらず順送りします。

シームレス選局の例：テレビ放送視聴中

テレビを見る

次のページにつづく ⇨

テレビ放送を見る 地A 地D BS CS（つづき）

視聴中にできることいろいろ

各機能で使用するリモコンボタン

画面表示、音声切換、ワイド切換、消音は、本機の外部入力につないだ機器の映像を見ているときにも使える機能です。

連動データ放送 地D BS CS

デジタル放送のテレビ放送に連動している内容で、データもあわせて楽しめます。
スポーツ中継で選手の成績を見たり、料理番組でレシピを確認できます。

連動データ表示例

1 **デジタル放送視聴中に連動データd（連動データd）を押す。**

連動データ放送の画面に切り換わります。

2 **↑↓←→ やカラーボタン（青・赤・緑・黄）、戻るボタンなどを使って、画面に従って操作する。**

外部入力の映像を見るには

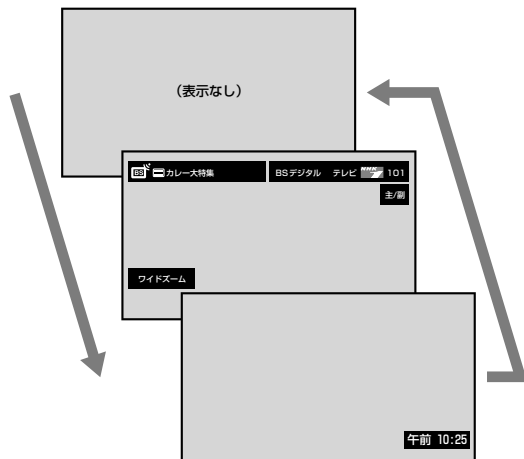
本機につないだ機器の映像を見るには、
入力を切り換えてください。

37ページ つないだ機器の映像を見る

画面表示

チャンネル番号、音声の種類、画面モードや現在の時刻などを画面に表示させられます。

画面表示（画面表示）を押す。

押すたびに次のように画面表示と時計表示が切り換わります。

音声切換 地A 地D BS CS

主音声/副音声など複数の音声がある番組や、デジタル放送で音声信号が複数ある番組を見ているときは、音声を切り換えられます。

音声切換（音声切換）を押す。

押すたびに音声が切り換わります。

例：音声1/音声2がある番組

テレビを見る

次のページにつづく ⇨

ご注意

時刻を表示させるためには、デジタル放送で時刻情報を取得する必要があります。

28ページ 時刻を表示する

音声切換について

切り換えられる音声は番組によって異なります。

テレビ放送を見る 地A 地D BS CS（つづき）

字幕 地D BS CS

デジタル放送で字幕のある番組を見ているときに、字幕の言語を切り換えたり、字幕を消すことができます。

字幕（字幕）を押す。

押すたびに字幕の表示が切り換わります。

例：第1言語/第2言語がある番組

字幕

ワイド切換

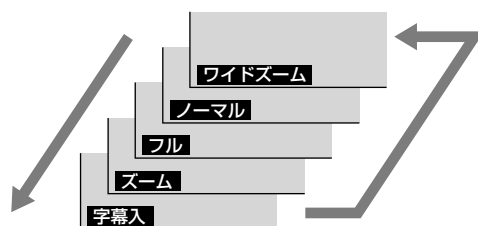
映像に合わせて画面のサイズ（画面モード）を切り換えられます。

ワイド切換（ワイド切換）を押す。

押すたびに次のように切り換わります。

文字スーパーの言語を切り換えるには

メニューの「文字スーパー設定」で切り換えてください。

「テレビの設定をする」→「D（デジタル放送設定）」→「デジタル放送設定」→「表示設定」→「文字スーパー設定」の順に選びます。

消音

視聴中に電話がかかってきたときなどに、簡単に音声のみを消せます。

消音（消音）を押す。

もう一度消音（消音）を押すと、同じ音量で音声が出ます。

字幕について

- 切り換えられる字幕は番組によって異なります。
- 字幕は映像とは別に送信される信号です。映像の中の字幕スーパーを切り換えることはできません。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、「第1言語」または「第2言語」、「切」に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 第2言語が無い番組のときは第1言語が表示されます。

文字スーパーについて

- 文字スーパーは、映像とは別の信号で送られる臨時ニュースなどの文字表示です。映像の中の文字を切り換えることはできません。
- 表示される言語は放送によって異なります。また、第2言語が送信されていないときは第2言語を選んでも第1言語になります。

ワイド切換について

お買い上げ時は、画面モードが自動で切り換わる「オートワイド：入」に設定されています。

60ページ 画面モードを設定する

消音について

消音状態のままで、音量－ボタンで音量バーの数値を下げることができ、音量＋ボタンを押して、消音を解除することもできます。

消音ポン

電源スタンバイ中に、消音ボタンを押すと、音量表示が最小の状態で電源が入ります。

29ページ 音声を出さずに電源を入れる

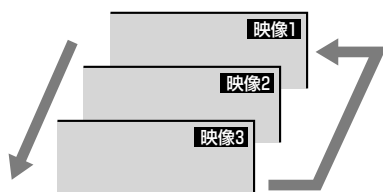
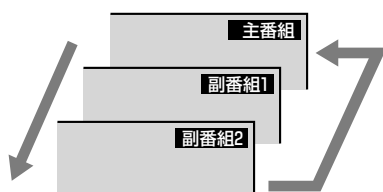
映像切換 地D BS CS

デジタル放送で複数の映像信号が送信されている番組やマルチビュー放送では、視聴中に映像を切り換えることができます。

1 (ツール)を押す。

2 「映像切換」を▲▼で選び、決定を押す。

手順1、2を行うたびに映像が切り換わります。

複数映像信号のとき

マルチビュー放送のとき

表示例:「映像2」を選んでいるとき

(ツール)でできること…

テレビ視聴中

いますぐ録画/録画停止*1	予約設定画面が表示されます(☞44ページ)。 録画実行中は録画を停止できます。
予約一覧*1	予約一覧が表示されます(☞50ページ)。
画質モード	画質モードを切り換えます(☞55ページ)。
音質モード	音質モードを切り換えます(☞58ページ)。
番組説明*1	番組説明が表示されます(☞23ページ)。
消費電力	消費電力を設定します(☞62ページ)。
映像切換*1	映像を切り換えます。
他チャンネルリスト*1	他チャンネルリストが表示されます(☞27ページ)。
スリープタイマー	スリープタイマーを設定します(☞31ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホン音量調節画面が表示されます(☞30ページ)。
時刻取得*2	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。

*1 デジタル放送視聴中のみ
*2 地上アナログ視聴中のみ

映像切換について

- 切り換えられる映像は番組によって異なります。
- 映像信号が複数送信されているかどうか、マルチビュー番組かどうかは、番組説明で確認できます。

▶ 23ページ 番組説明を見る

マルチビュー放送

スポーツ番組などで異なるカメラアングルの映像を切り換えたり、1つのチャンネルで複数の映像を切り換えて見ることのできる放送です。

▶ 66ページ マルチ放送

独立データ放送/ラジオ放送を楽しむ

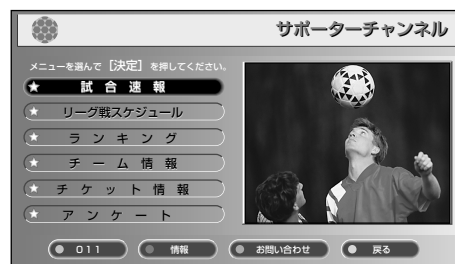
デジタル放送ではテレビ放送の他に独立データ放送とラジオ放送があります。

データ放送/ラジオ放送で使用する
リモコンボタン

独立データ放送を見る

地D　BS　CS

独立データ放送はデータのみを専門に扱っている放送サービスです。

独立データ放送の例

1 （メニュー）を押す。

2 「dデータ放送をみる」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「地上デジタル放送」または「BSデジタル放送」、「CS1デジタル放送」、「CS2デジタル放送」を↑↓で選び、決定を押す。

独立データ放送を行っていない放送を選んだときは、その放送で最後に見ていたチャンネルに戻ります。

4 チャンネルをチャンネル＋/－ボタンまたは数字ボタンで選ぶ。

5 ↑↓←→やカラーボタン（青・赤・緑・黄）、戻るボタンなどを使って、画面に従って操作する。

ご注意

- データ放送で双方向通信を行うには、あらかじめ電話回線の接続と設定を行ってください。

▶準備編 51ページ　電話回線の接続と設定

- データ放送では、本機につないだ電話回線を使って通信を行うことがあります。通信中（消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点滅）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかることがあります。

登録発呼

データ放送のコンテンツによっては、登録しておいてあとで送信できる場合があります。

▶34ページ　回線が混んでいるとき発信を遅らせる

連動データ放送

デジタル放送のテレビ放送に連動しているデータ放送です。

▶14ページ　連動データ放送

ブックマーク

データ放送のコンテンツによっては、ブックマークを登録しておいて簡単に表示させることができます。

▶33ページ　お気に入りのデータ放送を見る

地域の情報を見るには

郵便番号を設定していれば、データ放送でお住まいの地域の天気予報や地域情報なども見ることができます。

▶準備編 62ページ　地域設定をする

ラジオ放送を聞く BS CS

衛星(BSデジタル、110度CSデジタル)放送で流れるラジオです。画像や連動データを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質で楽しめます。

1 (メニュー)を押す。

2 「ラジオ放送をきく」を▲▼で選び、決定を押す。

3 「BSデジタル放送」または「CS1デジタル放送」、「CS2デジタル放送」を▲▼で選び、決定を押す。

ラジオ放送を行っていない放送を選んだときは、その放送で最後に見ていたチャンネルに戻ります。

4 チャンネルをチャンネル+/−ボタンまたは数字ボタンで選ぶ。

(ツール)でできること…

独立データ放送/ラジオ放送視聴中

いますぐ録画/録画停止	予約設定画面が表示されます(☞44ページ)。 録画実行中は録画を停止できます。
予約一覧	予約一覧が表示されます(☞50ページ)。
画質モード	画質モードを切り換えます(☞55ページ)。
音質モード	音質モードを切り換えます(☞58ページ)。
番組説明	番組説明が表示されます(☞23ページ)。
消費電力	消費電力を設定します(☞62ページ)。
映像切換	映像を切り換えます(☞17ページ)。
他チャンネルリスト	他チャンネルリストが表示されます(☞27ページ)。
スリープタイマー	スリープタイマーを設定します(☞31ページ)。
ヘッドホン音量	ヘッドホン音量調節画面が表示されます(☞30ページ)。

番組表でできること 地D BS CS

デジタル放送では、放送予定や番組内容がわかる番組表の情報を送信しています。本機ではデジタル放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）および放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）ごとに約1週間先までの番組情報を番組表で見ることができます。また、チャンネル別番組表と時刻別番組表の2種類があり、用途とお好みに応じて使えます。

番組表でできること

Ⓐ 見たい番組を探す　Ⓑ 放送中や放送予定の番組の確認　Ⓒ 番組内容の確認（番組説明）
Ⓓ 番組の録画･録画予約　Ⓔ 選局

Ⓐ 見たい番組を探す
Ⓑ 放送中や放送予定の番組の確認

チャンネル別番組表
チャンネル別に放送される番組を開始時刻順に表示します。見たいチャンネルがわかっているときに番組を探すのに便利です。

黄を押して切り換える

Ⓐ 見たい番組を探す
Ⓑ 放送中や放送予定の番組の確認

時刻別番組表
同じ時間に放送する番組をチャンネル順に表示します。見たい時間にどんな番組がどのチャンネルで放送されるか探すのに便利です。

↑↓←→で番組を選ぶ

Ⓒ 番組内容の確認

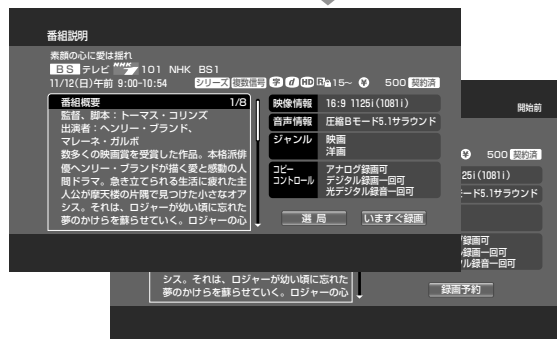
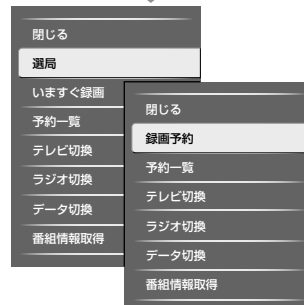
番組説明
番組の概要や出演者などを見ることができます。

決定を押す。

ツールを押す。

ツール

閉じる
選局
いますぐ録画
予約一覧
テレビ切換
ラジオ切換
データ切換
番組情報取得

閉じる
録画予約
予約一覧
テレビ切換
ラジオ切換
データ切換
番組情報取得

Ⓓ 番組の録画･録画予約

見ている番組をすぐ録画したり（いますぐ録画）、放送予定の番組を録画予約できます。

Ⓔ 選局（現在放送中の番組のみ）

現在放送中の番組のときは、選局ができます。

番組表から探す 地D BS CS

番組表で使用するリモコンボタン

1 **デジタル放送視聴中に、番組表(番組表)を押す。**

見ている放送の、前回表示されていた番組表(チャンネル別番組表または時刻別番組表)が表示されます。

2 **見たい番組表を黄(黄)を押して選ぶ。**

押すたびに、番組表が切り換わります。

チャンネル別番組表 ⟷ 時刻別番組表

3 **見たい番組やチャンネルを↑↓←→で選ぶ。**

チャンネル別番組表

時刻別番組表

見たい番組を探す

次のページにつづく ⇨

番組表から探す 地D BS CS（つづき）

A 番組の状況欄	●(赤):録画実行中の番組 ◉:録画予約した番組(☞44ページ) ▯(白):予約が重なっている番組 ▮(赤):録画実行中の番組と重なっている番組。
B 番組一覧	チャンネル別番組表では放送日時と番組名が、時刻別番組表ではチャンネルと放送時間、番組名が表示されます。現在の時間は青く表示されます。
C チャンネル表示欄	現在、番組表に表示中のチャンネル。 ⇔で、番組表に表示させたいチャンネルを選べます。
D 放送と放送サービス	デジタル放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)と放送サービスの種類(テレビ、ラジオ、データ)。
E 番組の情報	⇕で選んだ番組の情報が表示されます。
F 操作ガイド表示欄	番組表を表示中にリモコンでできる操作がガイド表示されます。詳しくは右記をご覧ください。
G リモコンの数字ボタン ①～⑫	ワンタッチで選局できます。
H 時間帯表示欄	現在、番組表に表示中の日付と時間帯。 ⇔で、番組表に表示させたい時間帯を1時間ごとに選べます。

マークの意味

- 字 ：字幕放送(☞16ページ)
- d ：テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞14ページ)
- MV ：マルチビュー放送(☞66ページ)
- HD ：デジタルハイビジョン信号HD(☞65ページ)
- SD ：標準テレビ信号SD(☞65ページ)
- R🔒 ：視聴年齢制限付き番組(☞「準備編」67ページ)
- ¥ ：ペイパービューなど有料番組(☞33ページ)
- シリーズ ：野球中継や季節ごとの番組(毎週/毎回に属さないもの)

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があり、番組名の左側に表示されます。以下はその一例です。

- 二 ：二か国語放送(☞65ページ)
- S ：ステレオ放送(☞65ページ)
- 字 ：字幕放送(☞16ページ)
- B ：圧縮Bモード放送(☞65ページ)
- N ：ニュース番組

番組説明を見るには

番組を⇕で選んで、決定を押す。

番組説明について、詳しくは「番組説明を見る」(☞23ページ)をご覧ください。

カラーボタンでできること

番組表を表示中にリモコンのカラーボタンで下記の操作ができます。

青:前日へ切り換えます。
赤:翌日へ切り換えます。
緑:番組表の放送(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)を切り換えます。
黄:チャンネル別番組表と時刻別番組表を切り換えます。

番組表を消すには

番組表(番組表)をもう一度押す。

番組表表示中

選局＊1、＊4	選んでいる番組を選局します。
いますぐ録画/録画停止＊1	予約設定画面が表示されます（☞44ページ）。 録画実行中は録画を停止します。
録画予約/予約削除＊2	予約設定画面が表示されます（☞44ページ）。 すでに予約してあるときは予約を削除できます。
予約一覧	予約一覧が表示されます（☞50ページ）。
テレビ/ラジオ/データ切換＊3	番組表の放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）を切り換えます。
番組情報取得＊4	番組表で表示中の放送の番組情報をデータ取得します。

＊1 現在放送中の番組を選んだときにのみ表示されます。
＊2 放送開始前の番組を選んだときにのみ表示されます。
＊3 地上デジタルの番組表を表示中は「ラジオ切換」は表示されません。
＊4 録画実行中は表示されません。

番組説明を見る

出演者やあらすじなど番組の詳しい内容を確認できます。視聴中の番組と視聴中以外の番組では番組説明の表示のしかたが異なります。

見ている番組の番組説明を見る

1 **（ツール）を押す。**

2 **「番組説明」を↑↓で選び、決定を押す。**

視聴中の番組の番組説明が表示されます。

番組表から番組説明を表示させる

選んだ番組の番組説明を見ることができます。

1 **（番組表）を押す。**

2 **番組を↑↓で選び、決定を押す。**

選んだ番組の番組説明が表示されます。

次のページにつづく ⇨

番組表から探す 地D BS CS （つづき）

A 番組内容表示欄	「1/8」は8ページ中の1ページ目の意味です。 キーワード検索（☞25ページ）は「番組概要」に含まれる言葉からキーワードを検索します。
B マーク	右の「マークの意味」をご覧ください。
C 番組の状況	「開始前」や「終了」など
D 番組情報欄	「**映像情報**」（☞65ページ）、「**音声情報**」（☞65ページ）、「**ジャンル**」（☞25ページ）、「**コピーコントロール**」（録画や録音についての情報☞67ページ）が表示されます。
E 「**いますぐ録画**」/「**録画停止**」	予約設定画面が表示されます（☞44ページ）。また、番組説明に表示されている番組の録画実行中は録画を停止できます。
「**選局**」	選局します。
「**録画予約**」*1/「**予約削除**」*1、*2/「**予約修正**」*2	予約設定画面が表示されます（☞44ページ）。また、予約済み番組のときは、予約を修正したり、削除できます（☞50ページ）。

*1 番組表から番組説明を表示させたときに、表示されます。
*2 予約一覧から番組説明を表示させたときに、表示されます。

マークの意味

- 字 ：字幕放送（☞16ページ）
- d ：テレビやラジオと連動しているデータ放送（☞14ページ）
- MV ：マルチビュー放送（☞66ページ）
- HD ：デジタルハイビジョン信号 HD（☞65ページ）
- SD ：標準テレビ信号 SD（☞65ページ）
- R🔒 ：視聴年齢制限付き番組（☞「準備編」67ページ）
- ¥ ：ペイパービューなど有料番組（☞33ページ）
- シリーズ ：野球中継や季節ごとの番組（毎週/毎回に属さないもの）
- 複数信号 ：第2映像など複数の映像･音声信号がある番組
- 契約済/未契約 ：放送事業者との契約が済んでいるかどうか（☞「準備編」57ページ）

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があり、番組名の左側に表示されます。以下はその一例です。

- 二 ：二か国語放送（☞65ページ）
- S ：ステレオ放送（☞65ページ）
- 字 ：字幕放送（☞16ページ）
- B ：圧縮Bモード放送（☞65ページ）
- N ：ニュース番組

信号表示を見るには

番組説明を表示中に 緑 （緑）を押す。

番組説明に表示されている番組が持っている映像信号や音声信号を見ることができます。

番組を検索する 地D BS CS

番組表の他にもジャンル検索やキーワード検索、他チャンネルリストで番組を探せます。

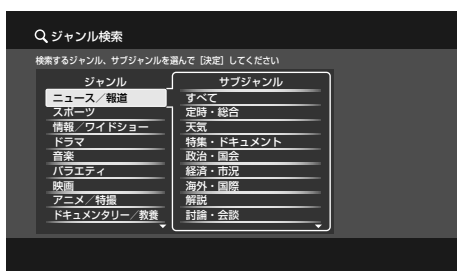
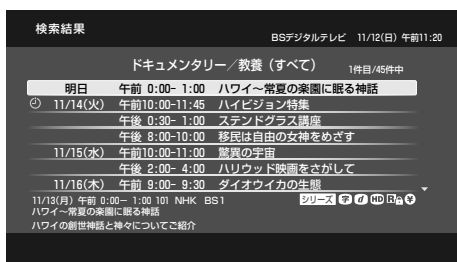
ジャンルで探す［ジャンル検索］

見たい番組のジャンルが決まっているときに使います。
視聴中の放送の中で、指定したジャンルに当てはまる番組を検索します。

1 **デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。**

2 **「番組表をみる」を↑↓で選び、決定を押す。**

3 **「ジャンル検索」を↑↓で選び、決定を押す。**

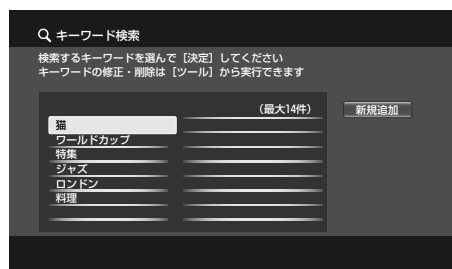
4 **ジャンルを↑↓で選び、決定を押す。**

5 **サブジャンルを↑↓で選び、決定を押す。**
選んだサブジャンルの番組が開始時刻順に表示されます。

キーワードで探す［キーワード検索］

あらかじめキーワードを登録しておけば（☞26ページ）、番組概要やスポーツ大会名などジャンルにはない言葉で検索できます。
視聴中の放送の中で、指定したキーワードに当てはまる番組を検索します。

1 **デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。**

2 **「番組表をみる」を↑↓で選び、決定を押す。**

3 **「キーワード検索」を↑↓で選び、決定を押す。**

4 **キーワードを↑↓で選び、決定を押す。**

選んだキーワードを含む番組が開始時刻順に表示されます。

次のページにつづく ⇨

検索できる番組数

ジャンル検索、キーワード検索それぞれで、200までです。

他の放送の検索結果を見るには

検索結果表示中に緑ボタンを押すと、他の放送の番組を検索して表示できます。

番組を検索する 地D BS CS （つづき）

検索したいキーワードを登録するには

キーワード検索をするには、あらかじめキーワードを登録しておく必要があります。登録したキーワードが番組タイトルや番組説明の「番組概要」（☞23ページ）に含まれている番組を検索するので、文字が完全に一致したときのみ検索できます。

1 デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。

2 「番組表をみる」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「キーワード検索」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「新規追加」を↑↓←→で選び、決定を押す。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 ソフトウェアキーボードでキーワードを入力する（☞35ページ）。

キーワードは最大で12文字まで入力できます。
キーワードは全部で14件まで登録できます。
キーワードの入力が終了するとキーワード検索に戻り、新しいキーワードが表示されます。

（ツール）でできること…

キーワード検索表示中

新規追加	新しいキーワードを追加できます。
修正	選んでいるキーワードを修正できます。
削除	選んでいるキーワードを削除できます。

検索結果表示中

選局*1	選局します。
いますぐ録画/録画停止*1	予約設定画面が表示されます（☞44ページ）。 録画実行中は録画を停止します。
録画予約/予約削除*2	予約設定画面が表示されます（☞44ページ）。 すでに予約してあるときは予約を削除できます。
予約一覧	予約一覧が表示されます（☞50ページ）。

*1 現在放送中の番組を選んだときにのみ表示されます。
*2 放送開始前の番組を選んだときにのみ表示されます。
録画実行中は「録画予約」は表示されません。

他のチャンネルで何を放送しているかを見る［他チャンネルリスト］

視聴中の番組を表示させたまま、他のチャンネルで何が放送されているかを確認できます。

1 **デジタル放送視聴中に、（メニュー）（メニュー）を押す。**

2 **「番組表をみる」を↑↓で選び、（決定）を押す。**

3 **「他チャンネルリスト」を↑↓で選び、（決定）を押す。**

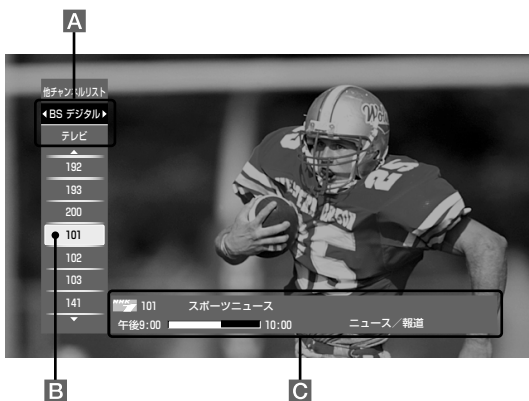
他チャンネルリストが表示されます。

4 **↑↓←→でチャンネルを選ぶ。**

選んだチャンネルで現在放送中の番組の情報が表示されます。

5 **他のチャンネルも確認するときは、手順4を繰り返す。**

6 **（決定）を押す。**

選んだチャンネルに切り換わります。

A 放送と放送サービス	他チャンネルリストで表示中の放送と放送サービス。 ←→で放送を切り換えられます。
B 選んでいるチャンネル	↑↓でチャンネルをスクロールできます。 （決定）を押すと、選んだチャンネルの画面になります。
C 番組の情報	↑↓←→で選んだチャンネルで、現在放送中の番組の情報。 チャンネル、番組名、放送時間、ジャンルなどが表示されます。

他チャンネルリストを消すには

（戻る）を押す。

（ツール）でできること…

他チャンネルリスト表示中

テレビ/ラジオ/データ切換*	他チャンネルリストの放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）を切り換えます。
番組情報取得	他チャンネルリストで表示中の放送の番組情報をデータ取得します。
番組表のチャンネル登録	他チャンネルリストに表示させるチャンネルを登録します（☞「準備編」63、66ページ）。 「番組表」チェック欄に✓が付いているチャンネルが、他チャンネルリストに表示されます。

* 地上デジタルの他チャンネルリストを表示中は「ラジオ切換」は表示されません。

画面をメモする［メモ］

番組やビデオカメラレコーダーの映像、料理番組のレシピなど、メモをとりたい場面を静止させて2画面表示で見ることができます。

メモ（メモ）を押す。

1画面表示に戻すには

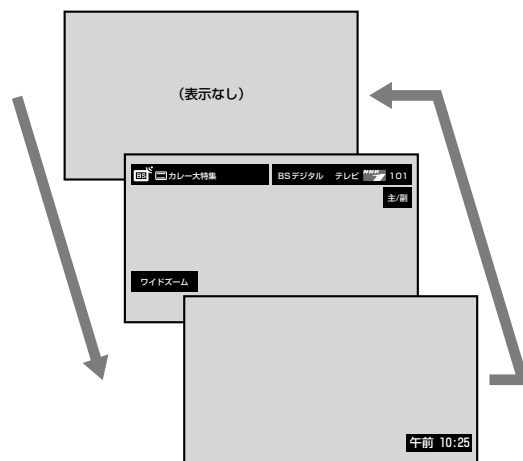
メモ（メモ）をもう一度押す。

視聴中の映像の1画面表示に戻ります。

時刻を表示する［時計表示］

現在の時刻を画面に表示させられます。
他にもチャンネル番号、音声の種類、画面モードなども表示させられます。

画面表示（画面表示）を押す。

押すたびに次のように画面表示と時計表示が切り換わります。

ご注意

- 録画が始まると、メモ画面を閉じて、録画するチャンネルに切り換わります。
- ラジオ放送と独立データ放送、PC入力のときはメモボタンは働きません。
- 時刻を表示させるためには、デジタル放送で時刻情報を取得する必要があります。
- ケーブルテレビ（CATV）でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。アンテナ線をつないでデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できます。

時刻情報を取得するには

地上アナログを見ているときは、ツールから「時刻取得」を選ぶとデジタル放送に切り換わり、時刻情報を取得します。デジタル放送を見ているときは、自動的に時刻情報を取得します。

電源を入れるときの便利な機能

電源スタンバイ中に、リモコンで電源を入れるときの便利な機能です。

チャンネルボタンで電源を入れる［チャンネルポン］

チャンネルボタンを押して、電源を入れると同時に放送やチャンネルも切り換えられます。
見たいチャンネルが決まっているときに便利です。

下記のボタンを押す。

ボタン	動作
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	最後に見ていた放送になり、押した数字ボタンに登録されているチャンネルが映ります（ワンタッチ選局）。
チャンネル ＋ −	最後に見ていたチャンネルが映ります。
アナログ、デジタル、BS、CS	それぞれの放送になり、最後に見ていたチャンネルが映ります。

音声を出さずに電源を入れる［消音ポン］

電源スイッチなどで電源を入れると、最後に聞いていた音量で音声が出ますが、消音ボタンで音量表示を最小にした状態で電源を入れることができます。深夜などに電源を入れたときに、いきなりの大音量を避けることができます。

1 **消音（消音）を押す。**

音量表示が最小の状態で電源が入り、映像のみが出ます。

2 **音量＋ボタンを押して、音量を調節する。**

音量＋ボタンを押すと音声が出ます。

静かな音で始まるようにする［サイレンススタート］

電源を入れたときに、徐々に音量が上がるように設定できます。電源を入れたときに、いきなりの大音量に驚かされることがありません。
本体の電源スイッチで主電源を入れたときにも有効です。

1 **メニュー（メニュー）を押す。**

2 **「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。**

3 **「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。**

4 **「サイレンススタート」を↑↓で選び、決定を押す。**

5 **「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。**

ヘッドホンの音量を調節する

市販のヘッドホンを使って音声を聞くときに、本機のスピーカーから聞こえる音声とは別に、ヘッドホンの音量のみを調節できます。
同じ番組を別々の音量で聞きたいときに、便利な機能です。

1 (ツール)を押す。

2 「ヘッドホン音量」を↑↓で選び、決定を押す。

3 ヘッドホンの音量を音量+/−ボタンで調節する。

(ヘッドホン音量調節バー)が表示されている間のみ調節できます。

本機のスピーカーから音声が出力されないようにするには

ヘッドホンをつないでいるときに、本機のスピーカーの音声を消し、ヘッドホンでのみ音声をきくことができます。

1 メニュー(メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「音声出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

5 「ヘッドホン使用時設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

ヘッドホンのみ使用	本機のスピーカーから音声が出なくなります。
スピーカー・ヘッドホン併用	本機のスピーカーからも音声が出ます。

ご注意

- ヘッドホンをつないでいないときは、ヘッドホンの音量を調節しないでください。音量を上げすぎると次にヘッドホンをつないだときに、突然大きな音になることがあります。
- 「ヘッドホン使用時設定」は「スピーカー出力」が「切」に設定されているときは設定できません。

音量調節

- 本機のスピーカーの音量を調節するには、ヘッドホン音量調節画面が消えてから、音量+/−ボタンで調節してください。
- 「スピーカー出力」を「切」に設定しているときや、「ヘッドホン使用時設定」を「ヘッドホンのみ使用」に設定しているときは、ヘッドホン音量調節画面を表示させなくても音量+/−ボタンでヘッドホンの音量を調節できます。

ヘッドホンを使用しているときは

「サラウンド」および「音質モード」の効果は無効になります。

58ページ 音質を調整する

タイマーを使う

タイマーを設定して、自動で電源を入/切できます。

時間を設定して電源を切る［スリープタイマー］

設定した時間が経過すると、自動で電源を切る（スタンバイランプが赤色に点灯）ように設定できます。

1 **（メニュー）を押す。**

2 **「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。**

3 **「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。**

4 **「タイマー」を↑↓で選び、決定を押す。**

5 **「スリープタイマー」を↑↓で選び、決定を押す。**

6 **時間、または「切」を↑↓で選び、決定を押す。**

時間を選んだときは、本体前面の消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点灯します。

切	スリープタイマーを設定しません。
15分、30分、45分、60分、90分、120分	選んだ時間が経過すると電源が切れます。

時刻を設定して電源を入れる［オンタイマー］

設定した時刻になると自動で電源が入るように設定でき、本機を目覚まし時計の代わりとして使えます。

1 **（メニュー）を押す。**

2 **「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。**

3 **「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。**

4 **「タイマー」を↑↓で選び、決定を押す。**

5 **「オンタイマー」を↑↓で選び、決定を押す。**

6 **設定項目を↑↓で選び、決定を押す。**

「タイマー予約」を「入」に設定すると、本体前面の消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点灯します。

タイマー予約	**入**：設定した時刻になると電源が入ります。 **切**：オンタイマーを設定しません。
時刻設定	自動で電源を入れる時刻を設定します。 ←→で設定項目を選び、↑↓で設定します。決定を押すと設定を終了し他の項目を設定できます。
視聴時間	電源が入ってから自動で切れるまでの時間を設定します。 電源が切れる前に、チャンネル切換や音量調節などの操作をすると自動で電源は切れなくなります。
音量設定	音量を設定します。表示される数値は、視聴中に音量を調節するときに画面に表示される音量調節バーの数値と同じです。

次のページにつづく ⇨

ご注意

オンタイマーで設定した視聴時間が経過すると自動で電源が切れます（スタンバイランプが赤色に点灯）。

タイマーを使う（つづき）

時刻情報について

オンタイマーはデジタル放送の時刻情報を使用するため、長時間デジタル放送を受信できない場合には時計情報に誤差が生じる場合があります。正確な時刻を表示するために、時刻情報を取得してください。

時刻情報を取得するには

地上アナログを見ているときは、ツールから「時刻取得」を選ぶとデジタル放送に切り換わり、時刻情報を取得します。
デジタル放送を見ているときは、自動的に時刻情報を取得します。

ご注意

- オンタイマーを設定したあとは、本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。設定した時刻になっても本機の電源が入りません。
- オンタイマーを使うためには、デジタル放送で時刻を取得する必要があります。
- ケーブルテレビ（CATV）でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。アンテナ線をつないでデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できます。
- 次の場合は時刻がずれることがありますので、時刻情報を取得し直してください。
  - 長時間本体の電源スイッチで主電源を切っていたとき
  - 長時間デジタル放送を視聴せず、本体の電源スイッチで主電源を入/切していたとき

有料放送や双方向サービスのための機能

地D BS CS

デジタル放送では有料放送を視聴したり、データ放送で双方向通信ができます。

「お知らせ」の表示手順

1 デジタル(地上デジタル)またはBS(BS)、CS(CS)を押す。

デジタル放送の受信状態に切り換えます。

2 メニュー(メニュー)を押す。

3 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

5 「お知らせ」を↑↓で選び、決定を押す。

お気に入りのデータ放送を見る［ブックマーク］

データ放送によっては「お気に入りに登録する」などの項目が表示されて、ブックマークを登録できるものがあり、お気に入りのデータ放送にブックマークを登録しておくと、一覧から選ぶだけで簡単に表示できます。ここでは、登録したブックマークを一覧表示してデータ放送を選ぶ操作を説明します。

1 「お知らせ」の表示手順を行う。

2 「ブックマーク一覧」を↑↓で選び、決定を押す。

登録したブックマークが一覧表示されます。

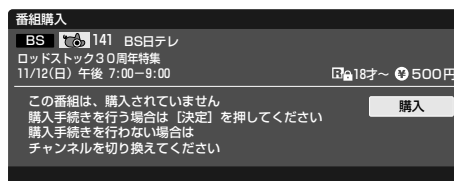
3 ブックマークを↑↓で選び、ツール(ツール)を押す。

4 「リンク」を↑↓で選び、決定を押す。

選んだデータ放送などに切り換わります。

ペイパービューの番組を見る

番組表などからペイパービューの番組を選局すると、番組購入画面が表示されます。

↑↓←→と決定で画面の指示に従って操作してください。

次のページにつづく ⇨

ご注意

ブックマークを登録できるのは、データ放送などで「お気に入りに登録する」などの項目が表示されているときのみです。

ペイパービュー(PPV:Pay Per View)

「見るたびに支払う」の意味で、デジタル放送の番組単位で随時、視聴購入できる有料番組です。購入前に内容を確認できるプレビュー(事前視聴)がついている番組もあります。

有料放送や双方向サービスのための機能 地D BS CS（つづき）

ペイパービューの購入履歴を確認する

先月と今月分の購入概算額と最近購入した番組を一覧表示させて確認できます。

1 「お知らせ」の表示手順（☞33ページ）を行う。

2 「ペイパービュー購入履歴」を↑↓で選び、決定を押す。

回線が混んでいるとき発信を遅らせる［登録発呼］

データ放送で、クイズやアンケートに回答するなど放送局と通信して楽しむときに、回線が混んでいて発信できないことがあります。番組によっては、そのようなときはあとで発信するように登録できることがあり（登録発呼）、ここでは登録した発呼を実行したり、自動で発信するように予約したりする操作を説明します。

1 「お知らせ」の表示手順（☞33ページ）を行う。

2 「登録発呼」を↑↓で選び、決定を押す。

登録した番組が一覧表示されます。

3 番組を↑↓で選び、ツール（ツール）を押す。

4 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

ツールの項目について詳しくは、☞「ツールでできること」の「登録発呼一覧表示中」をご覧ください。

ツール（ツール）でできること…

ブックマーク一覧表示中

リンク*1	選んだ項目にリンクします。
削除禁止/削除禁止解除	選んだブックマークを削除できないようにします。削除禁止にしているときは解除できます。
削除	選んだブックマークを削除します。
全件削除	すべてのブックマークを削除します。
期限切れ削除	期限の切れているブックマークを削除します。

ペイパービュー購入履歴表示中

全件削除*2	すべてのペイパービュー購入履歴を削除します。

登録発呼一覧表示中

発呼/発呼中止	発呼受付期間中は、すぐに発呼します。発呼中の番組は発呼を取り消せます。
詳細表示	詳細情報を見ることができます。
予約/予約取消	発呼受付開始前であれば、発呼の予約ができます。予約済みの番組は予約を取り消せます。
削除禁止/削除禁止解除	選んだ番組を削除できないようにします。削除禁止にしているときは解除できます。
削除	選んだ番組を削除します。

発呼履歴一覧表示中

全件削除*2	すべての発呼履歴を削除します。

*1 メモと期限切れ以外の番組のとき
*2 履歴があるときのみ

ご注意

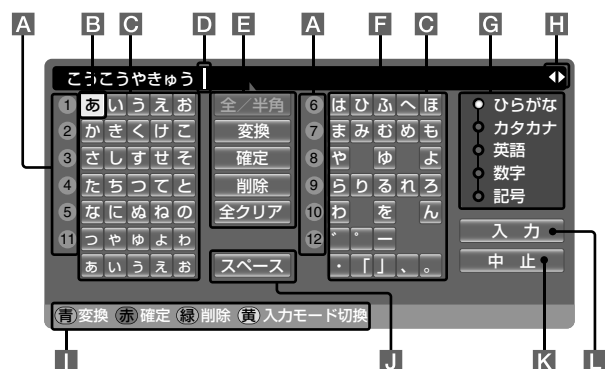
- 登録発呼を行うには、電話回線の接続と設定が必要です。

電話回線の接続と設定

- 発呼を予約したときは、本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。
- 発呼の登録はデータ放送で登録発呼ができることが表示されたときにのみ可能です。

文字を入力する［ソフトウェアキーボード］

地D　BS　CS

ソフトウェアキーボードは、キーワード登録やネットワーク設定など文字を入力する必要があるときに表示されます。

A 数字ボタン	リモコンの数字ボタンを押すと、同じ数字の行にフォーカスが移動します。さらにくり返し押すとフォーカスが移動し携帯電話のように入力できます。
B フォーカス	↑↓←→で移動します。
C 文字ボタン	文字や記号を入力します。
D カーソル	文字を入力する位置。
E 編集用ボタン	「**全/半角**」:英字や記号の全角、半角を切り換えます。 「**変換**」:入力した文字を漢字に変換します。 「**確定**」:文字を確定します。 「**削除**」:カーソルの右側の文字を削除します。ただし、カーソルが右端にあるときは、左側の文字を削除します。 「**全クリア**」:入力文字表示エリアにある文字をすべて削除します。
F 入力文字表示エリア	入力中の文字が表示されます。 ◣の位置までの確定後の文字が、キーワードなどとして設定されます。◣を超えたときは、確定時に文字列の後が削除されます。
G 文字の種類	入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードが表示されます。黄ボタンでもできます。
H ◀▶マーク	入力文字表示エリアでカーソルを移動できるときに表示されます。
I 操作ガイド表示欄	ソフトウェアキーボードを表示中にリモコンでできる操作がガイド表示されます（☞36ページ）。
J 「スペース」ボタン	スペース（空白）を入力します。
K 「中止」ボタン	文字入力を中止して、元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は登録されません。
L 「入力」ボタン	確定した文字を登録して、元の画面に戻ります。

文字や記号を入力する

例:キーワード検索で「愛」を入力する

1 **キーワード検索を表示させる（☞25ページ）。**

2 **「新規追加」を↑↓←→で選び、(決定)を押す。**

ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 **「あ」を↑↓←→で選び、(決定)を押す。**

入力文字表示エリアに「あ」と表示されます。

選ばれている文字や項目　入力文字表示エリア

4 **「い」を↑↓←→で選び、(決定)を押す。**

入力文字表示エリアに「あい」と表示されます。

5 **「変換」ボタンを↑↓←→で選び、(決定)を押す。**

正しい文字が表示されたときは手順7にすすんでください。

6 **「愛」が表示されるまで、くり返し↑↓を押す。**

7 **「確定」ボタンが選ばれていることを確認し、(決定)を押す。**

8 **「入力」ボタンを↑↓←→で選び、(決定)を押す。**

ソフトウェアキーボードが消えて、キーワード検索に「愛」が表示されます。

次のページにつづく ⇨

文字を入力する［ソフトウェアキーボード］ 地D BS CS （つづき）

入力した文字を削除するには

入力文字表示エリアに表示されている文字を削除できます。

例:「高校野球の決勝戦」から「の」を削除する

1. **フォーカスを↑↓←→で入力文字表示エリアに移動する。**
2. **カーソルを←→で削除する文字の左側に移動する。**

   高校野球｜の決勝戦

   カーソルが右端にあるときは、カーソルの左側の文字が削除されます。
3. **「削除」ボタンを↑↓←→で選び、決定を押す。**

   高校野球｜決勝戦

ソフトウェアキーボードで使えるリモコンのボタン

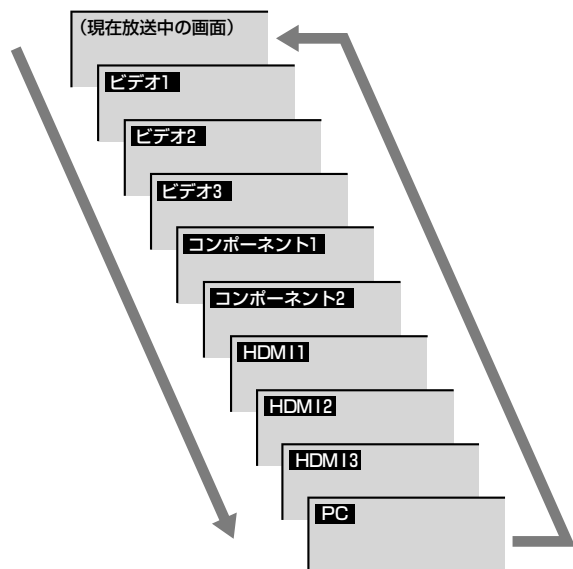
ボタン	説明
↑↓←→ / 決定	**↑↓←→ボタン** フォーカスやカーソルを移動します。 **決定ボタン** フォーカスやカーソルの移動を決定して、文字を入力したり、フォーカスのあたっているボタンの機能を実行します。
青	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 入力した文字を漢字に変換します。 「変換」ボタンと同じ働き。 **「英語」入力、「記号」入力のときは** 全角文字と半角文字を切り換えます。 「全/半角」ボタンと同じ働き。
赤	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 変換した文字を確定します。 「確定」ボタンと同じ働き。
緑	カーソルの右側の文字を削除します。 「削除」ボタンと同じ働き。
黄	入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードが表示されます。
1～12	ソフトウェアキーボードの文字ボタンの行の左端に表示されている数字を見て、数字ボタンで携帯電話のように文字を入力します。
戻る	文字入力を中止して、元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は登録されません。 「中止」ボタンと同じ働き。

つないだ機器の映像を見る 入力

本機につないだDVDやビデオの映像を見ることができます。

入力を切り換える[入力切換]

入力切換（入力切換）を押す。

押すたびに次のように切り換わります。

ツール（ツール）でできること…

外部入力視聴中（PC入力を除く）

番組子画面	番組子画面が表示されます（☞39ページ）。
画質モード	画質モードを切り換えます（☞55ページ）。
音質モード	音質モードを切り換えます（☞58ページ）。
消費電力	消費電力を設定します（☞62ページ）。
スリープタイマー	スリープタイマーを設定します（☞31ページ）。
ヘッドホン音量	ヘッドホン音量調節画面が表示されます（☞30ページ）。
時刻取得	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。

次のページにつづく ⇨

ビデオラベル/入力スキップを設定しているときは

設定した名称が表示されます。「入力スキップする」に設定している入力はとばして切り換わります。

▶ 40ページ つないだ機器を選びやすくする

放送に戻るには

外部入力の映像を見ているときに、チャンネル＋/－ボタンや数字ボタン、地上アナログボタン、地上デジタルボタン、BSボタン、CSボタンを押すと、選んだチャンネルまたは放送に戻ります。

入力切換はメニューでもできます

メニューで「接続機器を楽しむ」を選んでから、視聴したい外部入力を選んでください。

つないだ機器の映像を見る 入力（つづき）

外部入力の設定をする

必要に応じて設定を行ってください。

S2映像入力端子と映像入力端子を両方つないだときは

ビデオ1入力の映像信号をどちらの端子から入力するかを設定できます。

1. メニュー（メニュー）を押す。
2. 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「オートS映像」を↑↓で選び、決定を押す。
5. 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	S2映像入力端子から入力します。
切	映像入力端子から入力します。

ゲーム画面に適した映像にするには［CGゲームモード］

1. メニュー（メニュー）を押す。
2. 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「CGゲームモード」を↑↓で選び、決定を押す。
5. 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	CG（コンピューターグラフィック）の多い、ゲームなどに適した映像になります。
切	DVDの映画など、自然画に適した映像になります。

色あいが不自然なときは［カラーマトリクス］

通常はお買い上げ時の設定のままで使用し、色合いが不自然になったときにのみ設定してください。

1. メニュー（メニュー）を押す。
2. 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「カラーマトリクス」を↑↓で選び、決定を押す。
5. 設定したい外部入力を↑↓で選び、決定を押す。

すべての入力を標準に戻す	カラーマトリクスをお買い上げ時の設定に戻します。
ビデオ	ビデオ1～3の入力ごとに、映像色差信号の表示方法を選びます。
コンポーネント1～2、HDMI1～3	**オート**：映像信号と映像色差信号の種類を自動で検出して切り換えます。 **信号ごとに選択**：入力される映像信号の種類(480i、480p、1080i、720p、1080p)ごとに、映像色差信号の表示方法を選びます。

xvYCC規格に準拠した映像信号を最適な画質モードで見るには

本機のコンポーネント入力やHDMI入力に、xvYCC規格に準拠した映像信号が入力されているときは、下記の設定でご覧ください。

画質を調整する（☞55ページ）

- 画質モード：カスタム
- カラースペース：スタンダード

つないだ機器の映像を見ながら放送中の番組を見る［番組子画面］ 入力

DVDやビデオの映像を視聴中に、現在放送中の番組を2画面で同時に見ることができます。

1 **つないだ機器の映像を視聴中に、ツール（ツール）を押す。**

2 **「番組子画面」を↑↓で選んで、決定を押す。**
最後に選んでいたチャンネルが右画面に表示されます。

外部入力画面
DVDやビデオの映像

放送画面
現在放送中の映像

緑色の枠が表示されている
画面の音声が出ます。

番組子画面表示中にできること

入力切換ボタン	**外部入力画面**の入力を切り換えます。
↑↓、チャンネル+/−、10キー、数字ボタン	**放送画面**のチャンネルを切り換えます。
地上アナログ、地上デジタル、BS、CSボタン	**放送画面**の放送を切り換えます。
音量+/−、消音、音声切換、画面表示、ツールボタン	緑色の枠が表示されている画面を操作できます。

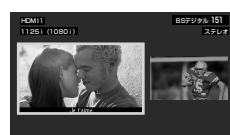
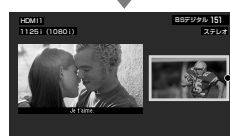
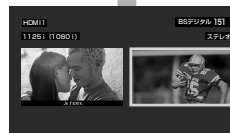
1画面表示に戻すには

決定を押す。

緑色の枠が表示されている画面が1画面で表示されます。

操作する画面の切り換えや画面サイズを変えるには

←→を押し続けて、希望の大きさになったら指を離す。

放送画面（右画面）を大きくするとき

外部入力画面（左画面）を大きくするときは、←で操作してください。

番組子画面表示中

1画面	1画面表示に戻します。
ヘッドホン音量	ヘッドホン音量調節画面が表示されます（☞30ページ）。

ご注意

- PC入力のときは番組子画面を表示させられません。
- 番組子画面では、ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示されません。
- 放送視聴中は番組子画面はできません。
- 番組子画面表示中は緑色の枠がどちらの画面に表示されていても、デジタル放送/ビデオ出力からは放送画面（右画面）の映像·音声信号が出力されます。

つないだ機器を選びやすくする

つないだ機器を名前で表示する［ビデオラベル］

入力を切り換えたときなどに、つないだ機器に合わせて名前を表示させる設定ができます。

例：ビデオ3入力に切り換えたときに、「DVDプレーヤー」と表示させる。

1 （メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を⇧⇩で選び、決定を押す。

3 「（各種設定）」を⇧⇩で選び、決定を押す。

4 「ビデオラベル/入力スキップ」を⇧⇩で選び、決定を押す。

5 「ビデオ3」を⇧⇩で選び、決定を押す。

6 「DVDプレーヤー」を⇧⇩で選び、決定を押す。

ラベルなし	お買い上げ時の表示になります。
CATVチューナー、デジタルチューナー、VTR、DVDプレーヤー、DVDレコーダー 1、DVDレコーダー 2、ブルーレイディスク、AVアンプ、ゲーム、ビデオカメラ	選んだ機器の名称が表示されます。PC入力のときは選べません。

使わない入力に切り換わらないようにする［入力スキップ］

入力切換ボタンを押して入力を切り換えるときに、使わない入力をとばして切り換わるように設定できます。入力スキップを設定しておくと、入力切換を早く行うことができます。

1 （メニュー）を押す。

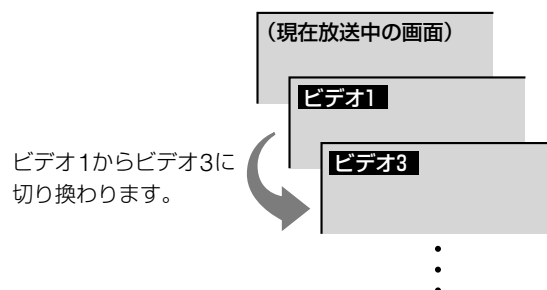
2 「テレビの設定をする」を⇧⇩で選び、決定を押す。

3 「（各種設定）」を⇧⇩で選び、決定を押す。

4 「ビデオラベル/入力スキップ」を⇧⇩で選び、決定を押す。

5 設定したい外部入力を⇧⇩で選び、決定を押す。

6 「入力スキップする」を⇧⇩で選び、決定を押す。

「ビデオ2」を「入力スキップする」に設定した場合

パソコン（PC）の画像を見る 入力

パソコン（PC）の画像を見る

入力切換（入力切換）をくり返し押して、PC入力に切り換える。

PC入力につないだパソコンの画像が表示されます。

パソコンをつなぐには

本機のPC入力端子にパソコンをつないで、本機でパソコンの画面を表示させることができます。

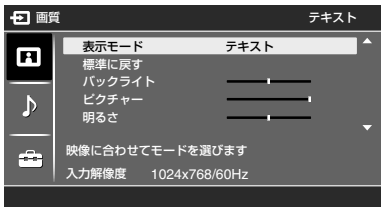
Mini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブルでつなげないパソコンをお使いのときは

必要に応じて市販のアダプターをお使いください。アダプターは、先にコンピューターに差し込んでから、ディスプレイケーブルにつなぎます。

パソコン（PC）入力の設定をする

PC入力独自の画質や音質、表示方法の設定ができます。

1. **入力切換（入力切換）をくり返し押して、PC入力に切り換える。**
2. **メニュー（メニュー）を押す。**
3. **「（画質）」または「♪（音質）」、「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。**
4. **設定項目を↑↓で選び、決定を押す。**
5. **お好みの調整を↑↓←→で選び、決定を押す。**

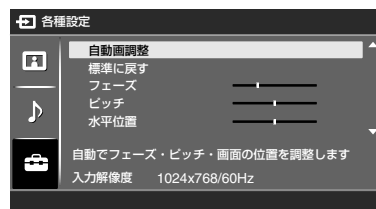
「（画質）」で調整できる項目

項目	説明
表示モード	**ビデオ**：動画を見るのに適した映像になります。 **テキスト**：文字や表を見るのに適した画像になります。
標準に戻す	画質調整をお買い上げ時の設定に戻します。
バックライト	画面の明るさを←→で調整します。 最小・1 ～ 9・最大
ピクチャー	明暗の差を←→で調整します。 最小・1 ～ 99・最大
明るさ	明るさを←→で調整します。 最小・1 ～ 99・最大
色温度	「高」から「中」、「低1」、「低2」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になります。

次のページにつづく ⇨

パソコン（PC）の画像を見る 入力（つづき）

「♪（音質）」で調整できる項目［音質モード］

ダイナミック	重低音を響かせながら高音も通る、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質です。映画やロックコンサートなど、迫力あるコンテンツに向いています。
スタンダード	全音域がバランスよく自然に広がっていく音質です。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなど、オリジナルの音源を活かしたコンテンツに向いています。
カスタム	オリジナルの音源そのままのフラットな音質です。パソコンで音質を調整するときに選びます。

「（各種設定）」で調整できる項目

自動画調整	入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるように調整します。 自動で最適な画面にならないときは、「フェーズ」や「ピッチ」、「水平位置」、「垂直位置」を調整してください。
標準に戻す	各種設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
フェーズ	画面のチラツキを⇔で軽減します。 最小・－15 ～ ＋14・最大
ピッチ*	縦じま状のノイズを⇔で軽減します。 最小・－49 ～ ＋49・最大
水平位置*	画像の水平位置を⇔で調整します。 最小・－49 ～ ＋49・最大
垂直位置*	画像の垂直位置を⇔で調整します。 最小・－49 ～ ＋49・最大
ワイド切換	垂直周波数60Hzの信号のみ切換可能です。 **ノーマル**：オリジナルのサイズで表示されます。 **フル1**：オリジナル画像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示されます。 **フル2**：画面いっぱいに表示されます。
パワーマネジメント	**入**：信号が入力されていないときに、自動的にパワーセーブ状態（スタンバイランプが赤色に点灯）にします。 **切**：信号が入力されていなくても、パワーセーブ状態にはなりません。

* 入力信号によって、調整できる範囲が限られる場合があります。

チラツキやノイズが出るときは

パソコンによっては、対応信号を入力した場合でも、チラツキやノイズなどが出ることがあります。その場合は、「フェーズ」や「ピッチ」を調整してください。

PC入力対応信号表

解像度			水平周波数［kHz］	垂直周波数［Hz］	VESA規格
信号名	水平［Pixel］	垂直［Line］			
VGA	720	400	31.5	70	−
	640	**480**	**31.5**	**60**	○
	640	480	37.5	75	○
	640	480	43.3	85	○
SVGA	800	600	35.1	56	○
	800	**600**	**37.9**	**60**	○
	800	600	48.1	72	○
	800	600	46.9	75	○
XGA	**1024**	**768**	**48.4**	**60**	○
	1024	768	56.5	70	○
	1024	768	60.0	75	○
WXGA	**1280**	**768**	**47.4**	**60**	○
	1280	**768**	**47.8**	**60**	○
	1280	768	60.3	75	○
	1360	**768**	**47.7**	**60**	○
SXGA	**1280**	**1024**	**64.0**	**60**	○
	1280	1024	80.0	75	○
HDTV	1920	1080	67.5	60	−

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- 本機は上記信号を垂直周波数60Hzに変換して表示します。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は上記信号すべてに対応していますが、垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨します（表内に太字で記載）。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。
- ご使用のパソコンによっては、1920 pixel × 1080 line/60Hz出力が選べないものがあります。また、1920 pixel × 1080 line/60Hz出力が選べる場合でも、本機で動作確認されている1920 × 1080 line/60Hzとは異なる信号が出力されるものがあります。これらの場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

本機の映像を録画する 地D BS CS

録画のしくみ

本機のみでの録画はできませんが、本機と録画機器をつなげば、本機の番組表などからデジタル放送を録画予約したり、自動で録画することができます。地上アナログ放送は録画できません。録画方法はシンクロ録画とAVマウス録画の2種類があり、お手持ちの録画機器によって選んでください。どちらも録画機器側での予約設定は不要です。

シンクロ録画

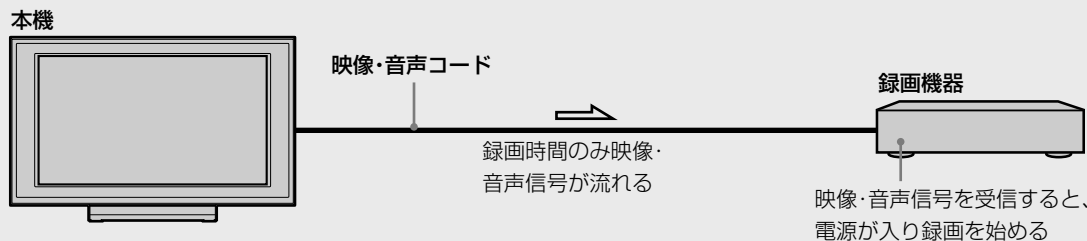
本機で予約した番組の開始時刻になり、録画機器に映像･音声信号が送られると、録画機器側で信号に反応して電源が入り、録画を始める機能です。予約した録画時間が終了すると、自動で録画停止し電源が切れます。

映像･音声信号の出力について

録画機器からではなく本機からシンクロ録画設定すると、録画設定した時間のみ映像･音声信号が出力されます。

シンクロ録画をするために

録画する前に、次のことを確認して準備してください。

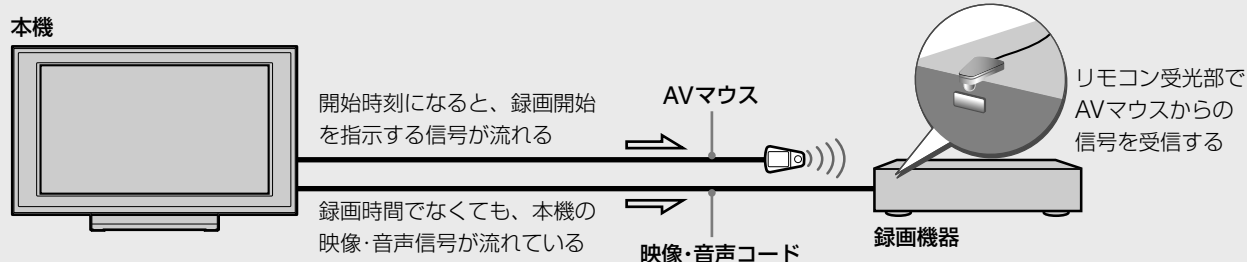
- 録画機器がシンクロ録画に対応していること
  録画機器の取扱説明書をご覧になって、確認してください。
- 録画機器を本機につなぐ（☞「準備編」40ページ）
- シンクロ録画の設定をする（☞「準備編」41ページ）
  本機でシンクロ録画の設定をすると、予約した時間のみ映像･音声信号が出力されます。

録画機器にシンクロ録画機能がないときは…

AVマウス録画

付属のAVマウスをつないで録画する機能です。本機で予約した番組の開始時刻になると、AVマウスを通して録画機器に録画開始を指示する信号（リモコン信号）が流れるので、録画機器の電源が入り録画を始めます。予約した録画時間が終了すると、自動で録画停止し電源が切れます。

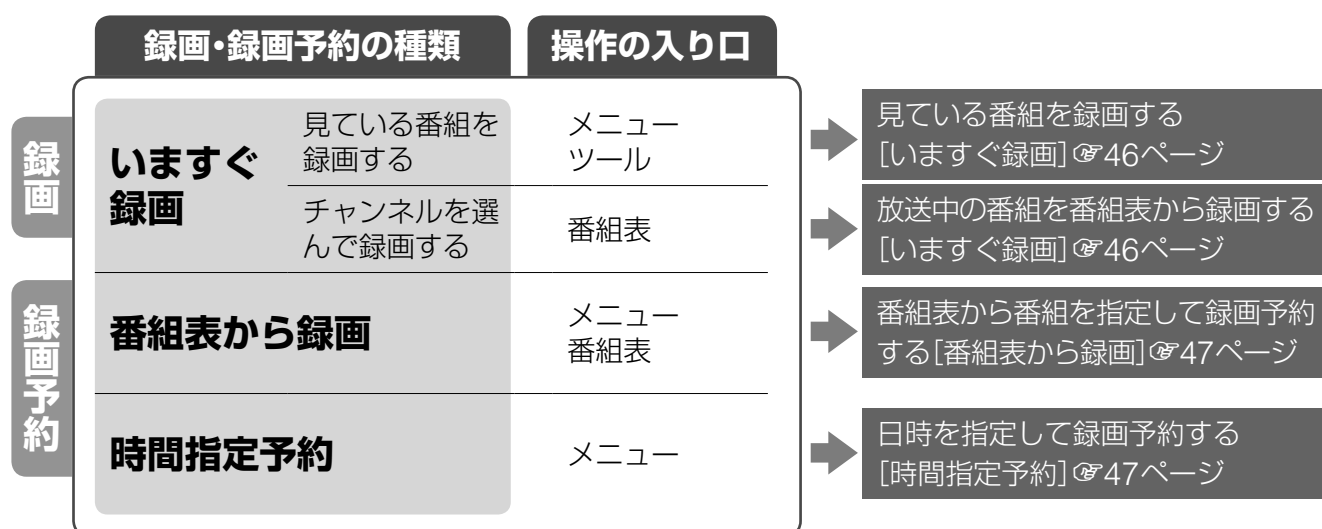
AVマウス録画をするために

録画する前に、次のことを確認して準備してください。

- 録画機器を本機につなぐ（☞「準備編」40ページ）
- AVマウス録画の設定をする（☞「準備編」41ページ）
- AVマウスの設定をする（☞「準備編」43ページ）

録画・録画予約の種類

次の3種類があり、それぞれ操作の入り口が異なります。それぞれの説明ページをご覧になり、操作してください。

いますぐ録画：現在放送中の番組を簡単に録画できます。視聴中の番組はツールから簡単に録画できます。
番組表から録画：番組表で番組を指定するだけで簡単に録画予約できます。
時間指定予約：日時とチャンネルを指定して録画予約します。
なお、本機では地上アナログの録画・録画予約には対応していません。

	録画・録画予約の種類		操作の入り口	
録画	いますぐ録画	見ている番組を録画する	メニュー ツール	見ている番組を録画する [いますぐ録画] ☞46ページ
録画	いますぐ録画	チャンネルを選んで録画する	番組表	放送中の番組を番組表から録画する [いますぐ録画] ☞46ページ
録画予約	番組表から録画		メニュー 番組表	番組表から番組を指定して録画予約する[番組表から録画] ☞47ページ
録画予約	時間指定予約		メニュー	日時を指定して録画予約する [時間指定予約] ☞47ページ

録画実行中に視聴できる放送や外部入力

録画実行中の番組の他に、下の表のように外部入力の映像を見ることができます。

○：視聴可能
△：録画実行中の番組のみ視聴可能
×：視聴不可能

	地上アナログ	地上デジタル	BSデジタル	110度CSデジタル	ビデオ 1～3入力	コンポーネント 1、2入力	HDMI 1～3入力	PC入力
地上デジタル録画実行中	×	△	×	×	○	○	○	○
BSデジタル録画実行中	×	×	△	×	○	○	○	○
110度CSデジタル録画実行中	×	×	×	△	○	○	○	○

録画が始まると、放送視聴中は自動的に録画するチャンネルに切り換わります。チャンネルを切り換えたいときは、録画を停止してください（☞48ページ）。

次のページにつづく ⇨

録画予約中の電源について

録画予約したときは、本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。主電源が切れていると、予約した時刻になっても電源は入らず、録画が始まりません。

複合機器で録画するときは

DVDレコーダー複合機のときは、録画予約する前に、複合機器側で録画する機器（HDDやDVDなど）を選んでおいてください。

本機の映像を録画する 地D BS CS（つづき）

見ている番組を録画する［いますぐ録画］

1 デジタル放送視聴中に メニュー （メニュー）を押す。

2 「録画する」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「いますぐ録画」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「予約確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

録画が始まります。

ツールから設定するには

1 デジタル放送視聴中に ツール （ツール）を押す。

2 上記の手順3、4を行う。

シンクロ録画に設定しているときは

見ている番組を録画するときは、必ず「いますぐ録画」で録画してください。

録画方法をシンクロ録画に設定すると、本機で録画設定した時間のみ映像・音声信号が出力されるため、録画機器側で録画操作をしても録画できません。

録画方法の設定については、「録画・予約をするための設定をする」（☞「準備編」41ページ）をご覧ください。

放送中の番組を番組表から録画する［いますぐ録画］

1 デジタル放送視聴中に 番組表 （番組表）を押す。

番組表が表示されます。

番組表の操作については☞21ページをご覧ください。

2 現在放送中の番組を↑↓←→で選び、決定を押す。

3 「いますぐ録画」を←→で選び、決定を押す。

4 「予約確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

録画が始まります。

いますぐ録画をするときは

録画機器によっては「いますぐ録画」を実行しても、録画開始までに時間がかかることがあります。

録画が始まると

- 本機前面の電源/録画予約/録画ランプが赤色に点灯します。
- 放送視聴中は、自動的に録画するチャンネルに切り換わります。

録画実行中の電源について

録画実行中は本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。録画が中止されます。リモコンの電源スイッチで電源を切っても継続します。

録画・予約できない放送や番組

- 地上アナログ放送は予約できません。
- 独立データ放送のデータ画面はデジタル放送/ビデオ出力端子から出力されないため、予約できません。
- 時間指定予約では、未購入のペイパービューは予約できても録画できません。

番組表から番組を指定して録画予約する［番組表から録画］

1 デジタル放送視聴中に（メニュー）を押す。

2 「録画する」を▲▼で選び、決定を押す。

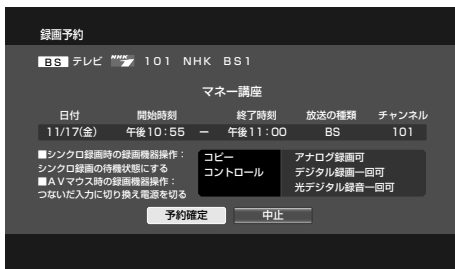
3 「番組表から録画」を▲▼で選び、決定を押す。

番組表が表示されます。

番組表の操作については☞21ページをご覧ください。

4 録画したい番組を▲▼◀▶で選び、決定を押す。

5 「録画予約」を◀▶で選び、決定を押す。

6 「予約確定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

番組表から設定するには

1 番組表（番組表）を押す。

2 上記の手順4 ～ 6を行う。

くり返し録画するには

予約設定したあとで、予約一覧から予約を選び修正してください。くり返し録画するように設定した場合は、時間指定予約に変更されます。

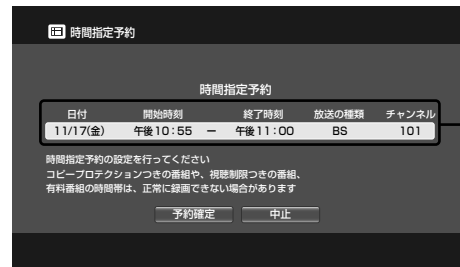
日時を指定して録画予約する［時間指定予約］

1 デジタル放送視聴中に（メニュー）を押す。

2 「録画する」を▲▼で選び、決定を押す。

3 「時間指定予約」を▲▼で選び、決定を押す。

4 設定欄が選ばれていることを確認して、決定を押す。

日付欄が選ばれます。

5 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で設定し、▶で次の項目に移動する。

日付	録画する日付またはくり返しの設定をします。
開始時刻	録画開始時刻を設定します。
終了時刻	録画終了時刻を設定します。
放送の種類	デジタル放送の種類を選びます。
チャンネル	チャンネルを選びます。

6 決定を押す。

7 「予約確定」を▲▼◀▶で選び、決定を押す。

次のページにつづく ⇨

つないだ機器を使う／録画する

ペイパービューの料金

予約時には料金はかかりませんが、録画が始まると料金がかかります。

正しい時刻に録画するために

録画予約を行うには、正しい時刻が取得されている必要があります。時刻がずれていると正しく実行されません。

32ページ 時刻情報を取得するには

時間指定予約ですぐに録画するときは

録画する機器によっては録画開始までに3分くらいかかることがあります。

予約したあとは

録画機器の電源を切っておいてください。電源が入っていると正しく録画が実行できない場合があります。

本機の映像を録画する 地D BS CS （つづき）

録画を停止する

誤って録画を始めてしまったときや、録画中に放送やチャンネルを切り換えるときは、録画を停止してください。

1. **録画中に（ツール）を押す。**
2. **「録画停止」を↑↓で選び、決定を押す。**
   録画停止画面が表示されます。
3. **「録画停止」を←→で選び、決定を押す。**

録画実行中

録画停止	録画を停止します。
予約一覧	予約一覧が表示されます（☞50ページ）。
画質モード	画質モードを切り換えます（☞55ページ）。
音質モード	音質モードを切り換えます（☞58ページ）。
番組説明	番組説明が表示されます（☞23ページ）。
消費電力	消費電力を設定します（☞62ページ）。
映像切換	映像を切り換えます（☞17ページ）。
他チャンネルリスト	他チャンネルリストが表示されます（☞27ページ）。
スリープタイマー	スリープタイマーを設定します（☞31ページ）。
ヘッドホン音量	ヘッドホン音量調節画面が表示されます（☞30ページ）。

録画・予約をするための設定をする

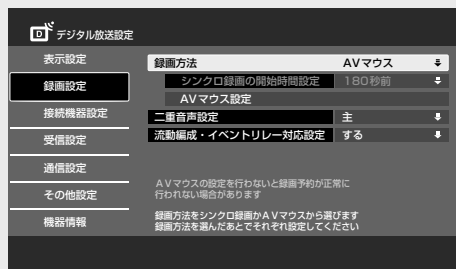
1 メニュー(メニュー)を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「(デジタル放送設定)」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「録画設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

二重音声設定	「**主**」/「**副**」/「**主/副**」:本機後面のデジタル放送/ビデオ出力から出力される音声は、録画中はここで選んだ音声に固定されます。スピーカーから出る音声も、録画中はここで選んだ音声に固定されます。
流動編成・イベントリレー対応設定	**する**:予約した番組に次のような変更があったとき、放送局が送信する放映時刻情報を本機が検知して、その変更に合わせて予約が実行されるように設定できます。 ● 開始時刻が遅れたとき 例:野球の延長などで開始時刻がくり下がったとき ● 放送中に中断や割込みがあったとき ● 放送時間内に終わらず、引き続き他のチャンネルで放送するとき(イベントリレー) ● 終了時刻が延長されたとき **しない**:放送時間の変更やイベントリレーに対応しません。

つないだ機器を使う/録画する

次のページにつづく ⇨

ご注意

- 「流動編成・イベントリレー対応設定」を「しない」に設定したときは、予約自体が取り消されることがあります。
- 「流動編成・イベントリレー対応設定」で「する」を選んでも、次のようなときは流動編成に対応しません。
  - 放送局が放映時刻情報を送信しない番組のとき
  - 予約した番組が予定より早く始まったとき(早まった時間は録画されません)。

「録画方法」の設定

あらかじめ、「録画方法」でシンクロ録画やAVマウスについての設定をしておいてください。

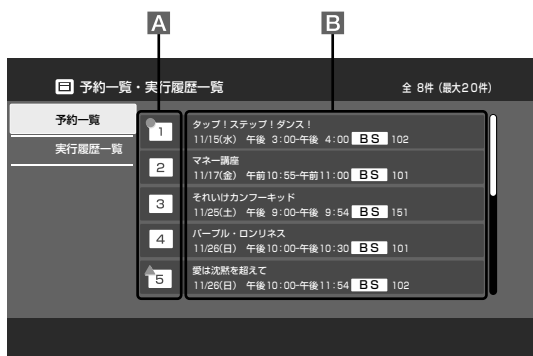
準備編 39ページ 本機の映像を録画するための接続と設定

本機の映像を録画する 地D BS CS (つづき)

録画予約を確認/修正/削除する [予約一覧]

予約一覧を表示して、すでに設定されている録画予約の確認や修正、削除ができます。

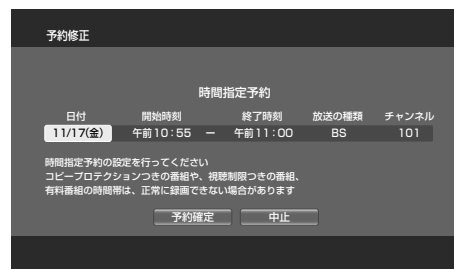
「予約一覧」の表示手順

1. (メニュー)を押す。
2. 「録画する」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「予約一覧」を↑↓で選び、決定を押す。

A 予約番号	下の「マークの意味」をご覧ください。
B 予約設定の内容	番組のタイトル、予約日時、チャンネルが表示されます。

マークの意味

- 1 : 予約番号。番号の順に実行されます。
- ●1 : 録画実行中の予約。
- 終了中 1 : 録画を終了中の予約。録画機器によっては録画を終了するのに多少時間がかかることがあります。
- ★1 : 予約保護が設定されている予約。
- ×1 : 重複していて、録画できない予約(☞51ページ)。
- 1 : くり返し予約の一部に重なりがある予約。
- ▲1 : 重複していて、部分的に録画できない予約(☞51ページ)。

予約を修正する

1. 「予約一覧」の表示手順を行う。
2. 修正したい予約を↑↓←→を選び、ツール(ツール)を押す。
3. 「予約修正」を↑↓で選び、決定を押す。
   時間指定予約の修正をするときは手順5に進んでください。
4. 「はい」を←→で選び、決定を押す。
5. 設定欄が選ばれていることを確認して、決定を押す。
   日付欄が選ばれます。
6. 修正したい項目を←→で選び、↑↓で修正し、→で次の項目に移動する。
   番組表からの予約は、日付欄のみ修正できます。

7. 決定を押す。
8. 「予約確定」を↑↓←→で選び、決定を押す。

予約を削除する

1. 「予約一覧」の表示手順を行う。
2. 削除したい予約を↑↓←→で選び、ツール(ツール)を押す。
3. 「予約削除」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「はい」を←→で選び、決定を押す。

ご注意

番組表からの予約をくり返し録画するように修正した場合は、時間指定予約に変わります。放送時間などの変更に対応するように設定していても対応しません。

49ページ 録画・予約をするための設定をする

実行された予約を確認する

1 「予約一覧」の表示手順（☞50ページ）を行う。

2 「実行履歴一覧」を↑↓で選び、決定を押す。

3 詳細を確認したいときは、予約を↑↓で選び、決定を押す。

マークの意味

1：正しく終了した録画予約。

×1：キャンセルされた録画予約。
↑↓で選んで、決定を押すと表示される詳細で、確認してください。

i1：正しく終了できなかった予約。
↑↓で選んで、決定を押すと表示される詳細で、確認してください。

予約一覧表示中

予約削除	選ばれている予約を削除します。録画実行中は録画を停止します。
予約修正	選ばれている予約の「予約修正」画面が表示されます。
予約保護/予約保護解除*	選ばれている予約の保護設定や、保護解除ができます。 保護設定がされている予約と重複したときは、保護設定がされている予約が優先して録画されます（★1）。他の予約が実行中のときも、保護設定がされている予約を優先します（★1）。 予約保護は1件のみ設定できます。

実行履歴一覧表示中

実行履歴確認	選んでいる番組の録画予約実行結果の詳細が表示されます。
全件削除	予約の履歴をすべて削除します。

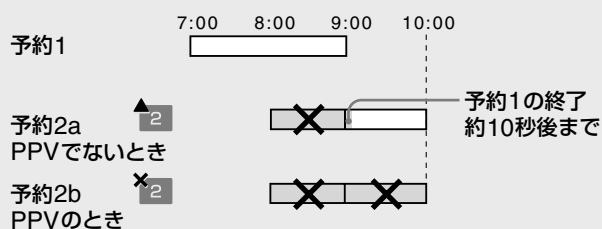
* 録画実行中は表示されません。

重複している予約はどうなるの？

- 下の図で、×の部分は実行されません。
- ペイパービューは、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます。

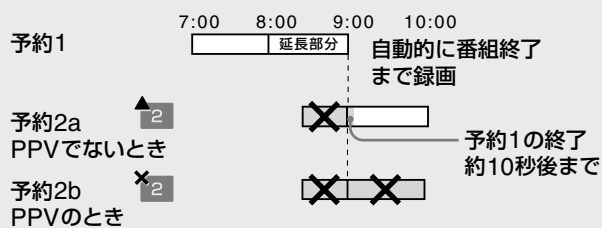
放送時刻が重なっているときは？

先に始まる番組（予約1）が優先されます。

あとから始まる番組（予約2a）は、予約1の終了約10秒後から録画されます（▲2）。ただし、ペイパービュー（予約2b）は、予約自体が自動的に取り消されます（×2）。

前の番組が延長されて、他の予約に重複したときは？

延長された番組（予約1）が自動的に番組終了まで録画されます。

「流動編成·イベントリレー対応設定」を「する」に設定していて（☞49ページ）、録画時間が変わり他の予約に重複したときも同じです。

延長により重複した番組（予約2a）は、予約1の終了約10秒後から録画されます（▲2）。ただし、ペイパービュー（予約2b）は、予約自体が自動的に取り消されます（×2）。

予約が連続しているとき

前の予約の終了時刻と、後の予約の開始時間が同じときは、前の予約終了前の数10秒が録画されません。

予約保護が設定されている予約と重複したときは？

予約保護の予約が優先して録画されます（★1）。他の予約が実行中のときも、予約保護の予約を優先します（★1）。

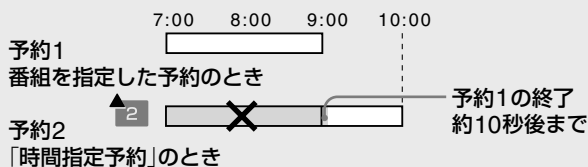
つないだ機器を使う／録画する

次のページにつづく ⇨

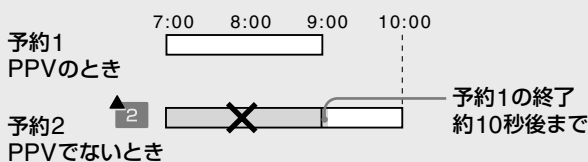
本機の映像を録画する 地D BS CS（つづき）

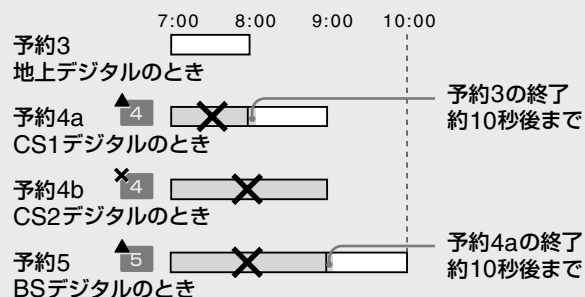
開始時刻が同じときは？

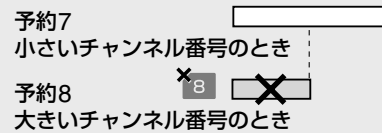
その1　番組を指定した予約(予約1)が時間指定予約(予約2)より優先されます。

重なった予約の放送時間が長いとき(予約2)は、予約1の終了約10秒後から録画されます(▲2)。

その2　番組を指定した予約のとき

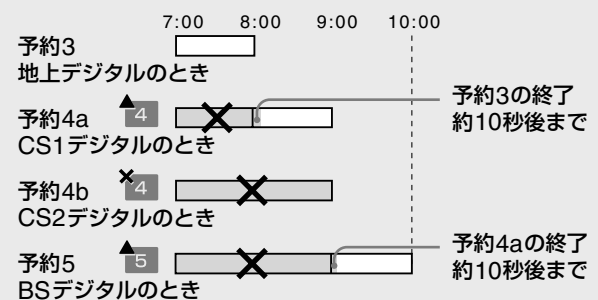
①ペイパービュー(予約1)が優先されます。

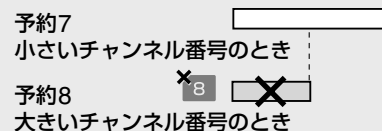
重なった予約の放送時間が長いとき(予約2)は、予約1の終了約10秒後から録画されます(▲2)。

②地上デジタル、CS1デジタル、CS2デジタル、BSデジタルの順に優先されます。

重なった予約がすべてペイパービュー、あるいはすべてペイパービューでないときです。優先順位の低い番組の放送時間が長いとき(予約4a、4b、5)は、優先順位の高い番組(予約3、4a、4b)の終了約10秒後から録画されます(▲4、▲5)。

③小さいチャンネル番号が優先されます(予約7)*。

重なった予約の両方が同じデジタル放送(BSデジタルとBSデジタルなど)で、両方ともペイパービュー、あるいは両方ともペイパービューでないときです。

その3　時間指定予約のとき

①地上デジタル、CS1デジタル、CS2デジタル、BSデジタルの順に優先されます。

優先順位の低い番組の放送時間が長いとき(予約4a、4b、5)は、優先順位の高い番組(予約3、4a、4b)の終了約10秒後から録画されます(▲4、▲5)。

②小さいチャンネル番号が優先されます(予約7)*。

重なった予約の両方が同じデジタル放送(BSデジタルとBSデジタルなど)のときです。

* 地上デジタルはチャンネル番号順にはなりません。「地上デジタル放送の地域別チャンネル表」(☞「準備編」76ページ)に記載されている順番になります。

オーディオ機器で音声を聞く

本機につないだオーディオ機器で本機の音声を聞くことができます。

本機のスピーカーから音声が出ないようにする

1 メニュー（メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「音声出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

5 「スピーカー出力」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「入」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。

入	本機のスピーカーから音声が出ます。
切	本機のスピーカーから音声が出ません。

オーディオ機器の音量を本機で調節できるようにする

「音声外部出力設定」を「可変」に設定すると、本機後面の音声出力端子につないだオーディオ機器の音量を本機で調節できます。

1 メニュー（メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「音声出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

5 「音声外部出力設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 「固定」または「可変」を↑↓で選び、決定を押す。

固定	音声出力端子から出力される音量を固定します。オーディオ機器側で音量調節してください。
可変	音声出力端子から出力される音量を本機で調節できます。音量＋/－ボタンで調節してください。

次のページにつづく ⇨

オーディオ機器で音声を聞く（つづき）

光デジタル音声出力端子の設定をする

光デジタル音声出力端子から出力される信号や、出力のタイミングを設定します。

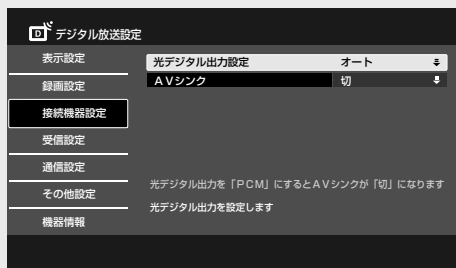
1
（メニュー）を押す。

2 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「（デジタル放送設定）」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「デジタル放送設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

5 「接続機器設定」を↑↓で選び、決定を押す。

6 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

光デジタル出力設定	**オート**：AAC対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声のときは、AAC音声（デジタル放送用音声方式）がそのまま出力されます。 地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声のときは、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。 **PCM**：AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声も、地上アナログや外部入力からの音声もすべて、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。
AVシンク	光デジタル音声出力端子にAVアンプをつないだときに、映像より音声が遅れる場合に調整します。 録画実行中は、AVシンクの設定に関わらず、音声のずれの調整をしません。 **切**：通常は「切」のままお使いください。 **モード1/モード2/モード3**：「モード3」の調整度合いが一番小さく、映像と音声のずれが少ないときに選びます。音声の遅れ具合に合わせて、徐々に調整してください。 「光デジタル出力設定」を「PCM」に設定すると、自動で「切」になります。「オート」に設定を変更したときは、「AVシンク」の設定をやり直してください。

画質を調整する

お好みの画質に調整する

放送や外部入力ごとにお好みで画質を調整できます。

1 アナログ(地上アナログ)またはデジタル(地上デジタル)、BS(BS)、CS(CS)、入力切換(入力切換)を押す。

画質を調整したい放送や外部入力に切り換えます。

2 メニュー(メニュー)を押す。

3 「(テレビの設定をする)」を↑↓選び、決定を押す。

4 「(画質)」を↑↓選び、決定を押す。

5 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

6 お好みの調整を↑↓←→で選び、決定を押す。

A 設定対象を選ぶ

全入力共通	すべての放送や外部入力(PC入力を除く)で同じ設定になります。
入力名 (**視聴中の入力**)	手順1で切り換えた放送または外部入力のみの設定になります。

B 画質モードを選ぶ

3種類の画質モードからお好みに合わせて選んでください。

ダイナミック	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像です(お買い上げ時の設定)。
スタンダード	ご家庭でのご使用に合わせた、自然さを重視した標準的な映像です。**通常は「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。**
カスタム	オリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整します。

画質モードをツールで選ぶには

1 視聴中にツール(ツール)を押す。

2 「画質モード」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「ダイナミック」または「スタンダード」、「カスタム」のいずれかを↑↓で選び、決定を押す。

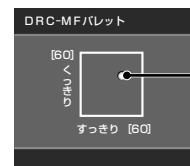
お好みで調整する

次のページにつづく ⇨

画質を調整する（つづき）

C すべての画質モードで調整できる項目

画質モードごとに次の項目が調整できます。

標準に戻す	画質調整をお買い上げ時の設定に戻します。
バックライト	画面の明るさを⇔で調整します。 最小･1　～　9･最大
ピクチャー	明暗の差を⇔で調整します。 最小･1　～　99･最大
明るさ	明るさを⇔で調整します。 最小･1　～　99･最大
色の濃さ	色の濃さを⇔で調整します。 最小･1　～　99･最大
色あい	赤～緑の色あいを⇔で調整します。 赤最大･赤49　～　緑49･緑最大
色温度	「**高**」から「**中**」、「**低1**」（**カスタムのみ**）、「**低2**」（**カスタムのみ**）にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になります。
シャープネス	映像の輪郭を⇔で調整します。 最小･1　～　99･最大
ノイズリダクション*	**オート**：映像のざらつきや色ノイズを自動で軽減します。「地上アナログ」や「ビデオ1」～「ビデオ3」を視聴中に選べます。ただし、「設定対象」が「全入力共通」のときは選べません。 **強、中、弱**：映像のざらつきや色ノイズを軽減します。ゴーストなどの電波障害は軽減されません。 **切**：元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認できます。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。
DRC-MFモード切換	放送や入力信号に合わせてモードを切り換えることで最適な高画質でお楽しみいただけます。 **モード1**：地上アナログやビデオ、デジタル放送の標準テレビ信号SDなどの一般的な映像や、デジタルハイビジョン信号HDのときに選びます（お買い上げ時の設定）。 **モード2**：地上/BS/110度CSデジタル放送視聴時に画面の両横にパネルが入っている番組のときに選びます。 サイドパネル **切**：放送局から送られた信号をそのまま表示します。
DRC-MFパレット	映像のくっきり（リアル感）とすっきり（ざらつき感）を調整します。ノイズが多いときは「すっきり」を上げてください。

* オリジナルの映像の種類によっては、「弱」または「中」、「強」のほうがきれいに見えることがあります。ただし、録画予約したデジタル放送の録画実行中は、設定を変えるとデジタル放送/ビデオ出力端子からの出力信号にノイズが出ることがあるため、切り換えないでください。

D 画質モードが「カスタム」でのみ調整できる項目

「詳細設定」を選ぶと表示されます。

標準に戻す	詳細設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
黒補正	黒を強調してコントラストを強くします。
アドバンスト C.E.	映像の明るさを自動的に判別し、バックライトおよびコントラストを最適な状態に調整します。 特に黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに映像を再現します。
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整します。
クリアホワイト	白の鮮明さを強調します。
ライブカラー	色の鮮やかさを強調します。
カラースペース	色再現域を切り換えます。 **ワイド**：バックライトの特性を活かした、より鮮やかな色を再現します。 **スタンダード**：標準的な色を再現します。
色温度調整	色温度を色ごとに細かく調整します。
ディテール エンハンサー	映像の微細な部分を強調します。
エッジ エンハンサー	映像の輪郭を強調します。
HDMI入力階調	HDMI入力時の階調を信号に合わせて自動調整します。

映画のようななめらかな映像にするには［シネマドライブ］

1 **メニュー（メニュー）を押す。**

設定したい放送や外部入力に切り換えます。

2 **「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。**

3 **「(各種設定)」を↑↓で選び、決定を押す。**

4 **「シネマドライブ」を↑↓で選び、決定を押す。**

5 **設定したい放送または外部入力を↑↓で選び、決定を押す。**

6 **「オート」または「切」を↑↓で選び、決定を押す。**

オート	映画フィルムをより忠実でなめらかな動きのある映像に再現します。
切	「オート」にしていて、輪郭がギザギザして見えるときに選びます。

音質を調整する

お好みの音質に調整する

放送や外部入力ごとにお好みで音質を調整できます。

1 アナログ(地上アナログ)またはデジタル(地上デジタル)、BS(BS)、CS(CS)、入力切換(入力切換)を押す。

音質を調整したい放送や外部入力に切り換えます。

2 メニュー(メニュー)を押す。

3 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「♪(音質)」を↑↓で選び、決定を押す。

5 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

6 お好みの調整を↑↓←→で選び、決定を押す。

A 設定対象を選ぶ

全入力共通	すべての放送や外部入力(PC入力を除く)で同じ設定となります。
入力名 **(視聴中の入力)**	手順1で切り換えた放送または外部入力のみの設定になります。

B 音質モードを選ぶ

3種類の音質モードから、お好みに合わせて選んでください。

ダイナミック	重低音を響かせながら高音も通る、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質です。映画やロックコンサートなど、迫力あるコンテンツに向いています(お買い上げ時の設定)。
スタンダード	全音域がバランスよく自然に広がっていく音質です。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなど、オリジナルの音源を活かしたコンテンツに向いています。
カスタム	オリジナルの音源そのままのフラットな音質です。

音質モードをツールで選ぶには

1 視聴中にツール(ツール)を押す。

2 「音質モード」を↑↓で選び、決定を押す。

3 「ダイナミック」または「スタンダード」、「カスタム」のいずれかを↑↓で選び、決定を押す。

C 音質モードごとに調整できる項目

標準に戻す	音質調整をお買い上げ時の設定に戻します。
高音	高音の音量を⇔で調整します。 最小·－11 ～ ＋11·最大
低音	低音の音量を⇔で調整します。 最小·－11 ～ ＋11·最大
バランス	左右のバランスを⇔で調整します。 左最大·左14 ～ センター ～ 右14·右最大
自動音量調整	放送や外部入力の中で自動調整します。たとえばCM音量が番組音量より大きい場合などに有効です。
音量レベル[*1]	放送や入力を切り換えたときに、音の大きさの違いが気になる場合に調節します。音量＋/－ボタンで音量を調節しても、音量レベルは変わりません。 ⇔で調整します。 最小·－5 ～ ＋5·最大
サラウンド	TruSurround XT 5.1：TruSurround XTの効果に加えて、5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声をクリアで臨場感と迫力ある音声で仮想的に表現します。 TruSurround XT：すべてのステレオ放送と外部入力の音声に有効です。人の声が聞きやすく、臨場感と迫力ある音声が楽しめます。 **切**：5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声（2ch）に変換して再現します。それ以外の放送や外部入力の音声は、オリジナル音声をそのまま再現します。
BBE[*2]	高低音域を強調し、立体感あふれる音声を再現します。

*1 「設定対象」で「全入力共通」を選んでいるときは、設定できません。
*2 カスタムでのみ調整できます。

ご注意

ヘッドホンを使用しているときは、「サラウンド」および「音質モード」の効果は無効になります。

画面モードを設定する

お好みの画面モードに設定する

放送や外部入力ごとにお好みで設定できます。

1 アナログ（地上アナログ）またはデジタル（地上デジタル）、BS（BS）、CS（CS）、入力切換（入力切換）を押す。

画面モードを設定したい放送や外部入力に切り換えます。

2 メニュー（メニュー）を押す。

3 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。

4 「⊞（画面モード）」を↑↓で選び、決定を押す。

5 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

6 お好みの調整を↑↓←→で選び、決定を押す。

A 設定対象を選ぶ

全入力共通	すべての放送や外部入力（PC入力を除く）で同じ設定になります。
入力名（視聴中の入力）	手順1で切り換えた放送または外部入力のみの設定になります。

B 設定できる項目

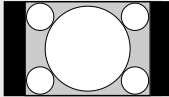
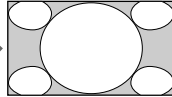
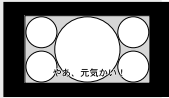
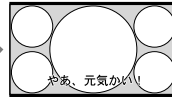
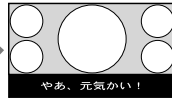
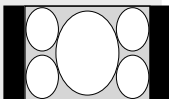
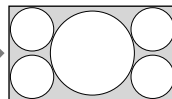
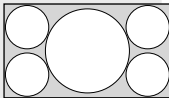
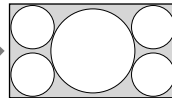
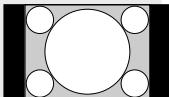
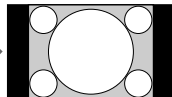
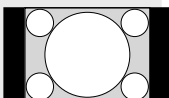
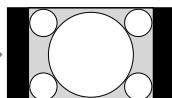
ワイド切換	お好みの画面モードを↑↓で選びます。「オートワイド」を「切」にしておくと、お好みの画面モードに固定できます。
オートワイド	**入**：画像を検出して最適な画面モードに自動で切り換えます。 **切**：画面モードは自動では切り換らなくなります。「入」にしていて画面モードが頻繁に切り換わるのが気になるときは「切」にしてください。
4:3映像	「オートワイド」が「入」のときに4:3映像をどのように表示させるかの設定です。 **ワイドズーム**：4:3映像を左右上下に引き伸ばして表示させます。 **ノーマル**：4:3映像がそのまま表示されます。 **切**：4:3映像が「ワイド切換」で切り換えた画面モードで表示されます。
上下黒帯検出	「オートワイド」が「入」のときに、上下に黒帯のある映画など横長の画面をどのように表示させるかの設定です。 **入**：上下の黒帯を細くし、左端/右端の画像が切り取られた状態で表示されます。 **切**：上下の黒帯をそのまま残し、全画面で表示されます。
表示領域	画面に表示させる映像の範囲を設定します。 **フルピクセル**：オリジナルの画サイズで表示されます。1125i（1080i）または1125p（1080p）の信号に対して設定できます。 **ノーマル**：オリジナルの画サイズで表示されます。 **－1または－2**：オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。
画面位置　左右	画面の左右位置を←→で調整します。 －5　～　＋5
画面位置　上下	画面の上下位置を←→で調整します。 －2　～　＋2
縦サイズ	画面の縦サイズを←→で調整します。 －3　0　＋7*

* ワイドズームのときの調整値です。

オートワイド

従来の横縦比が4:3の映像や、字幕や黒帯付の映像を本機のワイド画面いっぱいに広げて表示させる機能です。本機が画像信号を検出して表示するので、自動で切り換わります。

ワイド切換

番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。

ご注意

ズーム、字幕入りで画面位置、縦サイズを調整した場合、放送信号によっては、画面上部のチャンネル表示や画面下部の時計表示などがかけたり、画面中央付近に表示されることがあります。
そのような場合には、画面モードをフル、ワイドズームなどに切り換えてください。

オートワイドの働きかた

下の例は、オートワイド「入」で、「4:3映像」を「ワイドズーム」に設定しているときです。

A:地上アナログ、D:デジタル放送、外:外部入力（PC入力を除く）

オリジナルの映像（映像の種類）	画面モード	オートワイドの映像
A 通常のテレビ（地上アナログ）放送（横縦比4:3） D 標準テレビ信号SDの4:3映像 外 識別制御信号が入っていない横縦比4:3の映像		オリジナルの映像を違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
A 外 ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1） D 標準テレビ信号SDのレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）で、識別制御信号があるとき		画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）
A 外 シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）	字幕入になる	画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
外 横縦比を16:9にする識別制御信号が入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS2方式）		天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
D デジタルハイビジョン信号HDまたは標準テレビ信号SDの16:9映像		オリジナルの映像がワイド画面いっぱいに表示されます。
D デジタルハイビジョン信号HDまたは標準テレビ信号SDのサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。
A D 「オートワイド」を「入」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定したとき（☞60ページ）（デジタルハイビジョン信号HDを除くすべての映像） 外 横縦比を4:3にする識別制御信号が入ったテレビ放送、ビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS2方式）		オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。

ご注意

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示させてご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オートワイド「入」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。

省電力の設定をする

いろいろな方法で省エネに対応できます。

「省電力設定」の表示手順

1. メニュー（メニュー）を押す。
2. 「テレビの設定をする」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 「（各種設定）」を↑↓で選び、決定を押す。
4. 「省電力設定」を↑↓で選び、決定を押す。
5. 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

消費電力を節約する［消費電力］

画面の明るさを抑えたり、画面を消して消費電力を節約します。

1. 「省電力設定」の表示手順を行う。
2. 「消費電力」を↑↓で選び、決定を押す。
3. 設定項目を↑↓で選び、決定を押す。

標準	お買い上げ時の設定で、標準的な明るさです。
減（明）	消費電力を抑えたいときに選びます。
減（暗）	「減（明）」よりも暗くなり、さらに消費電力を抑えられます。
減（消画）	ラジオ放送などをお楽しみになるときに、画面を消して音声のみを聞くことができます。消画中は本体前面の消画/通信/タイマーランプが緑色に点灯します。

使っていないときに自動で電源を切る［無操作電源オフ］

チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作しなかったときに、自動で電源を切る（スタンバイランプが赤色に点灯）ように設定できます。

1 「省電力設定」の表示手順（☞62ページ）を行う。

2 「無操作電源オフ」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 時間、または「切」を⬆⬇で選び、決定を押す。

切	無操作電源オフは働きません。
1時間、2時間、3時間	何も操作せずに選んだ時間が経過すると、電源が切れます。

オートシャットオフについて

地上アナログを視聴中に、約9分間無信号を検出すると「オートシャットオフによりまもなく電源が切れます」と表示され、その1分後に電源が切れます（スタンバイランプが赤色に点灯）。

周りの明るさに合わせて画面の明るさを変える［明るさセンサー］

周囲の明るさに合わせて、自動で画面の明るさを変えるように設定できます。

1 「省電力設定」の表示手順（☞62ページ）を行う。

2 「明るさセンサー」を⬆⬇で選び、決定を押す。

3 「入」または「切」を⬆⬇で選び、決定を押す。

入	自動で画面の明るさを調整します。
切	明るさセンサーは働きません。

バックライトの明るさを調整する

「（画質）」（☞55ページ）で「バックライト」の明るさを下げると、消費電力を抑えられます。

パソコンからの入力信号がないときに画面を消す［パワーマネジメント］

PC入力につないだパソコンからの映像信号がないときに、自動で電源を切る（スタンバイランプが赤色に点灯）ように設定できます。PC入力に切り換えてからメニューで設定します（☞41ページ）。

お好みで調整する

ご注意

リモコン受光部/明るさセンサーの前に物を置かないでください。自動明るさ調節機能が働かないことがあります。

消画にしたまま電源を切っても

次に電源を入れたときは「消費電力」は「標準」に戻り、画面が表示されます。

複数の省電力機能を使うと

- 画質モードと消費電力の設定によっては、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくいことがあります。
▶55ページ 画質を調整する
- 「バックライト」の明るさを下げると、「消費電力」を「減（明）」または「減（暗）」にしても画面の明るさや節電効果が変わらないことがあります。

お知らせや情報を見る［メール/ボード］

地D BS CS

本機で受信したメールやボードを見ることができます。

「お知らせ」の表示手順

1 デジタル（地上デジタル）またはBS（BS）、CS（CS）を押す。

デジタル放送の受信状態に切り換えます。ボードを見るときは、ボードを見たい放送（CS1またはCS2）に切り換えます。

2 メニュー（メニュー）を押す。

3 「テレビの設定をする」を▲▼で選び、決定を押す。

4 「（各種設定）」を▲▼で選び、決定を押す。

5 「お知らせ」を▲▼で選び、決定を押す。

放送局や本機からのお知らせ［メール］

放送局からのお知らせや本機が発行したメールを見ることができます。
本体の電源スイッチで主電源を入れたときに、画面右下にが表示されるときは未読のメールが届いているときです。下記の手順に従ってメールを表示させてお読みください。

1 「お知らせ」の表示手順を行う。

2 「デジタル放送からのメール」または「本機からのメール」を▲▼で選び、決定を押す。

デジタル放送からのメール	放送局からお客様へのメールが一覧表示されます。
本機からのメール	ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールが一覧表示されます。

3 メールを▲▼で選び、決定を押す。
メールの内容が表示されます。

メールマークの意味

（既読）：すでに読んだメール
（未読）：まだ読んでいないメール

（黄色）：本機からのメール
地上D（青色）：地上デジタルからのメール
BS（緑色）：BSデジタルからのメール
CS1（ピンク色）：CS1デジタルからのメール
CS2（ピンク色）：CS2デジタルからのメール

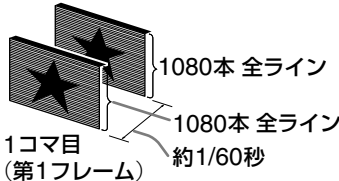
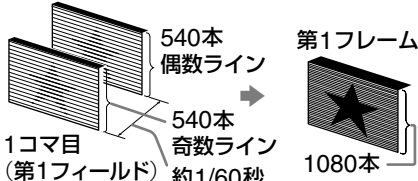
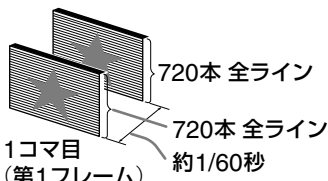
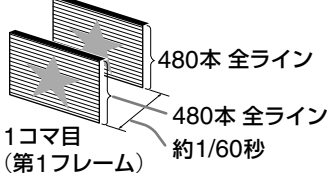
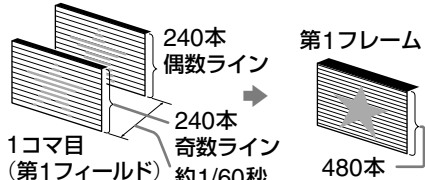
110度CSデジタル視聴者へのお知らせ［ボード］

110度CSデジタルの視聴者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。

1 「お知らせ」の表示手順を行う。

2 「ボード（CS1デジタル）」または「ボード（CS2デジタル）」を▲▼で選び、決定を押す。

3 ボードを▲▼で選び、決定を押す。

ボードの内容が表示されます。

メールについて

メールはお客様自身で削除できません。

デジタル放送の画像方式/音声方式

画像について

下記のように**全部で5種類の画像方式があります。**

画像方式	説明
1125p（1080p）のデジタルハイビジョン信号 HD	1125本（1080本）全部の走査線*を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*）画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。 2コマ目（第2フレーム）
1125i（1080i）のデジタルハイビジョン信号 HD	1125本（1080本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*）画像方式。 2コマ目（第2フィールド）
750p（720p）のデジタルハイビジョン信号 HD	750本（720本）全部の走査線*を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。 2コマ目（第2フレーム）
525p（480p）の標準テレビ信号 SD	525本（480本）全部の走査線*を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。 2コマ目（第2フレーム）
525i（480i）の標準テレビ信号 SD	525本（480本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*）画像方式。地上アナログやBSアナログと同等の解像度です。 2コマ目（第2フィールド）

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*で数えたときの別称です。
*の詳しい説明は、用語集（☞96～97ページ）をご覧ください。

音声について

デジタル放送には、次のような音声モードがあります。

音声モード	説明
モノラル	通常のニュース放送などに使われています。
ステレオ	音楽番組などに使われています。
3/1サラウンド **3/2サラウンド** **5.1サラウンド**	映画などに使われています。
圧縮Bモード	CDと同等の高音質になります。モノラルやステレオ、サラウンドが圧縮Bモードで送信されるときは番組説明（☞23ページ）に「圧縮Bモード」と表示されます。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。

マルチ放送

1つの放送局でのマルチ放送について

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの複数チャンネル(2～5チャンネル)放送を、右の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組が放送されます(イベント共有)。時刻別番組表(☞21ページ)を見るときや、チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

SD 標準テレビ信号

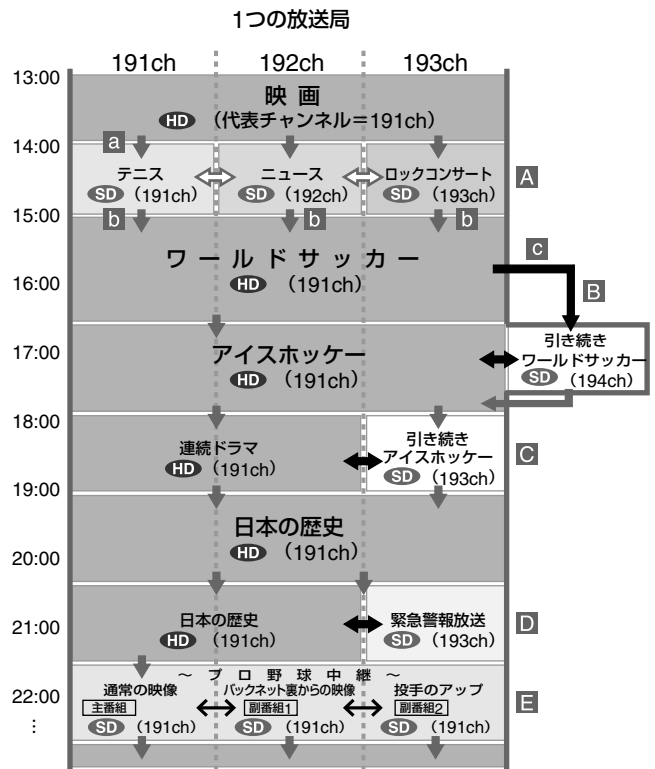
自動的に切り換わる

チャンネル+/−ボタンで切り換える

数字ボタンでチャンネル番号を入力して切り換える

ツールの「映像切換」で切り換える

右記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

1つの放送局
191ch 192ch 193ch
13:00 映画 HD(代表チャンネル=191ch)
14:00 a テニス SD(191ch) ニュース SD(192ch) ロックコンサート SD(193ch) A
15:00 b
16:00 ワールドサッカー HD(191ch) c B
17:00 アイスホッケー HD(191ch) 引き続きワールドサッカー SD(194ch)
18:00 連続ドラマ HD(191ch) 引き続きアイスホッケー SD(193ch) C
19:00 日本の歴史 HD(191ch)
20:00
21:00 日本の歴史 HD(191ch) 緊急警報放送 SD(193ch) D
22:00 ～プロ野球中継～ 通常の映像 主番組 SD(191ch) バックネット裏からの映像 副番組1 SD(191ch) 投手のアップ 副番組2 SD(191ch) E

A 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送
[マルチチャンネル放送]
上の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。
a マルチチャンネル放送開始/b マルチチャンネル放送終了

B 延長した番組を最後まで放送
[臨時放送]
上の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組のアイスホッケーを放送します。
c 臨時放送開始

C 他のチャンネルで引き続き放送
[イベントリレー]
放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送を行うときは、切り換わる3分前にお知らせが表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。時間になると自動的に切り換わります。

D 地震などの災害時に特別番組を放送
[緊急警報放送]
警戒警報や津波警報が発令されたときなどは、別チャンネルで緊急警報放送を行っていることの案内が表示されます。見るときは、「はい」を選んでください。

E さまざまな角度から番組を放送
[マルチビュー放送]
上の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を見ることができます。ツールから「映像切換」を選びます。

雨天など受信状態が悪いときのBS・110度CSデジタル放送[降雨対応放送]
お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように、メニューの「降雨対応放送受信」が「オート」に設定されています。

降雨対応放送に切り換わらないようにするには
メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS·CSデジタル設定」→「降雨対応放送受信」→「切」の順に選ぶ。

録画制限と著作権保護

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されております

● **録画禁止**

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためデジタル録画できません。地上デジタルやBSデジタルの無料放送は、VHSなどのアナログ録画機器で録画できますが、BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは、番組によってアナログ録画できない場合があります。

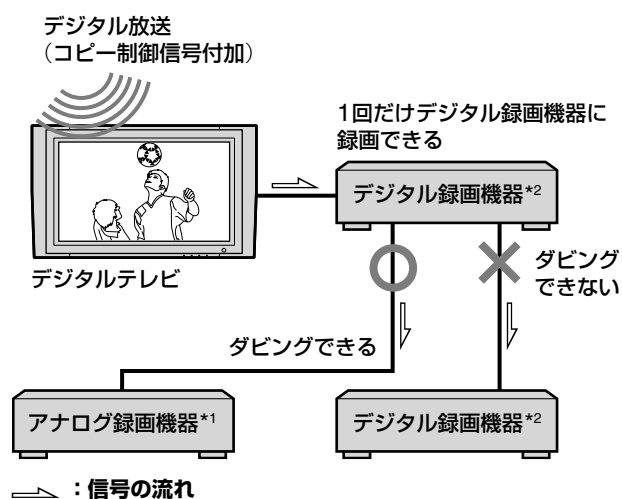
● **1回だけ録画可能**

「1回だけ録画可能」な番組は、著作権保護技術に対応した録画機器及び記録メディアにてデジタル録画できます。しかし、デジタル録画した番組をさらにデジタル録画(コピー)することはできません。VHSなどのアナログ録画機器では録画に制約はありません。

● **録画可能**

個人的に利用される場合に限って、制限なしに録画可能です。

番組説明(☞23ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

「1回だけ録画可能」の例

*1 VHS、8mmなど

*2 DVDレコーダー、ハードディスクレコーダー、D-VHSなど

「1回だけ録画可能」な番組の録画について

録画機器	接続方法	録画制限
DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなど	アナログ接続(映像･音声コード)	録画可能*3
VHSなど	アナログ接続(映像･音声コード)	録画可能

*3 DVDレコーダーでは、CPRM対応の録画用DVD-RW/DVD-Rディスクを使用して、VRモードでのみ録画できます。また、CPRM対応のDVD-RAMディスクを使用しても録画できます。

アナログ接続で録画するときの録画制限について

本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。

光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、ビデオデッキを経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

あなたが録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

ソフトウェアの自動更新(ダウンロード)

自動でデジタル放送からダウンロードする機能について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、デジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

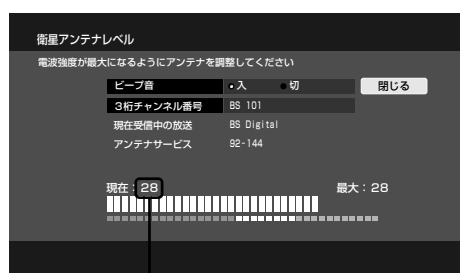
お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定(「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」)になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に更新されたソフトウェアで、デジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動でダウンロードが行われます

条件1 衛星アンテナの現在の受信レベルが『20以上』になっている。または、地上デジタルを安定して受信できている。

衛星アンテナレベルが20未満のとき、または地上デジタルが安定して受信できていないときは、ダウンロードが正しく行われません。衛星アンテナのときはアンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。地上波アンテナのときはお買い上げ店にご相談ください。

アンテナの受信レベルを確認するには

メニューの「衛星アンテナレベル」および「地上デジタルアンテナレベル」画面に表示されます。

衛星アンテナのときは、20以上であれば、ダウンロードが正しく行われます。

「衛星アンテナレベル」画面を表示させるには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS·CSデジタル設定」→「衛星アンテナレベル」の順に選ぶ。

「地上デジタルアンテナレベル」画面を表示させるには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「地上デジタルアンテナレベル」の順に選ぶ。

条件2 「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」の設定*になっている。
「デジタル放送からのダウンロード」が「しない」に設定されていると、ダウンロードが行われません。

「デジタル放送からのダウンロード」を設定するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「その他設定」→「デジタル放送からのダウンロード」→「オート」の順に選ぶ。

* お買い上げ時の設定です。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードを行わないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。**そのときは必ず本機を電源スタンバイ状態にしておいてください。**
- 本体の電源スイッチを押して主電源を切ると、ダウンロードは行われません。

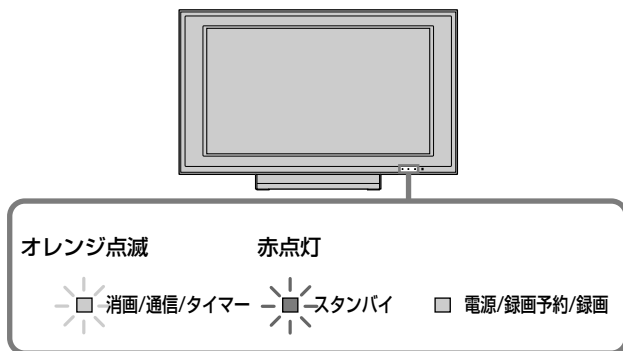
ダウンロードが行われるときは

デジタル放送からソフトウェア書き換え用のデータ信号を受信したときは、「**ダウンロードのお知らせ**」**のメールが届き**、本体の電源スイッチで主電源を入れたときに画面右下に✉が表示されます。

ダウンロードの実行中は

ダウンロードは電源スタンバイ時(スタンバイランプが赤色に点灯)にのみ、自動的に行われます。

電源スタンバイ中、数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。書き換えは、15分前後かかります(内容により時間は異なります)。

また、ダウンロード中は、本機前面の消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点滅し、その間はリモコン操作も本体操作もできなくなります。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら?」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの?」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ダウンロード中に主電源を切るとどうなるの?」
ダウンロード中は、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの?」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

バージョンアップが正常に終了すると

「ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、そのかわりに、「**バージョンアップ終了のお知らせ**」**のメールが届きます。**

メールを確認するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(各種設定)」→「お知らせ」→「本機からのメール」の順に選ぶ。

64ページ お知らせや情報を見る

ご注意

ダウンロード中は、本機の電源を入れたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

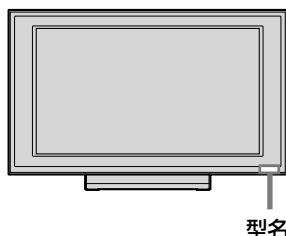
修理に出す前に

修理に出す前に、もう一度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

液晶テレビ

KDL-40X2500
KDL-46X2500
KDL-52X2500
KDL-40X2550
KDL-46X2550
KDL-52X2550

画面サイズ(番号)がどれかわからないときは、保証書や本機前面に記載されている型名をお知らせください。

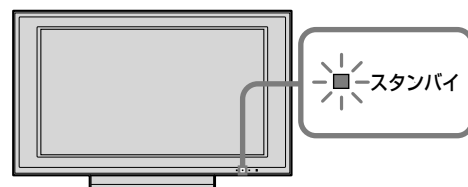
型名

リモコンの型名:

RM-JD007(KDL-40X2500/KDL-46X2500/KDL-52X2500)
RM-JD007B(KDL-40X2550/KDL-46X2550/KDL-52X2550)

故障の状況:できるだけくわしく

購入年月日:

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプ(赤色)が点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅の回数により本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤色に点滅したら、下の手順に従って、ソニーサービス窓口にご相談ください。ソニーサービス窓口については、同梱の「ソニーご相談窓口のご案内」をご覧ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を確認してください。
2 テレビ本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

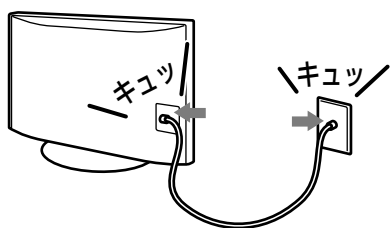
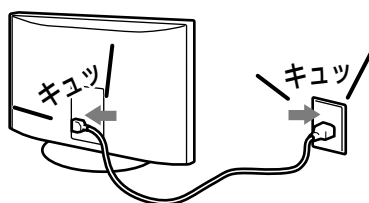
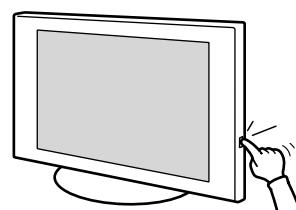
本機の設置場所を変えたときは

お引越しや模様替えなどで、アンテナをつなぎ換えたときは、もう一度、本機でお買い上げ時の初期設定をしてからお使いください(☞「準備編」28ページ)。

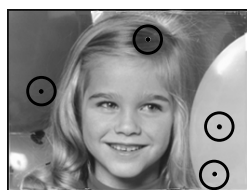
故障かな？と思ったら

インターネットのホームページでもよくあるお問い合わせ「Q&A」を紹介しています。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

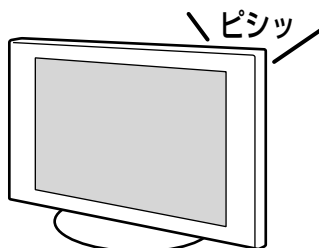
まず確認してください

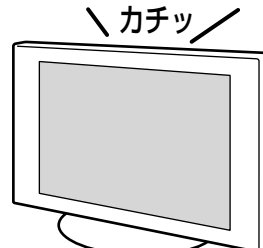
アンテナ線

電源コード

本体の電源スイッチ

症状に当てはまらない場合は、次ページをご覧になり、当てはまる症状を探してください。

こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。

輝点・滅点

液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。また電源スタンバイ時は、デジタル放送からのデータを取得するため、本機の電源が自動的に入り、音がしますが、本機に影響はありません。
（このとき消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点滅します。☞86ページ）

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

当てはまる症状を探します

どのような問題か、どの映像を見ているときに起きているかを確認します。

	すべての放送や外部入力	地上アナログ放送のみ	デジタル放送のみ	つないだ機器のみ
映像がおかしい	☞73ページ	☞74ページ	☞75ページ	☞76ページ
音声がおかしい	☞77ページ	☞77ページ	☞78ページ	☞78ページ
番組表がおかしい			☞79ページ	
録画・録画予約がおかしい			☞80ページ	
電源/録画予約/録画ランプが点滅している	☞82ページ			
リモコンが働かない	☞83ページ			
その他	☞84ページ			
エラーメッセージが表示される	☞85ページ			

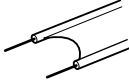
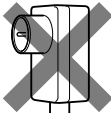
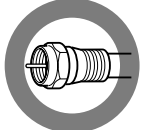
放送や入力を切り換えても、同じような症状が起こる場合は、「症状と対処のしかた」の「すべての放送や外部入力」をご覧ください。

症状と対処のしかた

映像がおかしい

すべての放送や外部入力

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
本機の電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（電源スタンバイ状態になった）。	● オートシャットオフが働いていませんか？ ● スリープタイマーを設定していませんでしたか？ ● 無操作電源オフを設定していませんか？ ● オンタイマーを利用して電源を入れたあと、設定した視聴時間が経過すると、電源スタンバイになります。	63 31 63 31	
画面モード（サイズ）が勝手に切り換わる。 映像が上下に動く。 例	● オートワイドが働いていませんか？ 「オートワイド」が「入」のときは、本機が最適な画面を判断しているためです。お買い上げ時は「オートワイド」は「入」に設定されています。 気になるときは「オートワイド」を「切」にしてください。 ● CMが入ったり、番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです。	60 61 61	
色がつかない、 色がおかしい、 画面が暗い。	● 画質モードを設定してください。 ● 画質を調整してください。 ● 「消費電力」が「減（明）」または「減（暗）」のときは、画面が暗くなります。	55 55 62	
画面がまぶしい。	● 画質モードを設定してください。 ● 「消費電力」を「減（明）」または「減（暗）」にしてみてください。 ● 「明るさセンサー」を「入」にしてみてください。	55 62 63	
画面が黒くなり何も映らない。	● 「消費電力」を「減（消画）」にしていませんか？消画のときは本機前面の消画/通信/タイマーランプが緑色に点灯します。	62	

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

地上アナログ放送のみ

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを設定し直してください。		58
チャンネルを切り換えたときに画面が一瞬乱れる。	●「GR設定」が「入」のときは、チャンネルを切り換えたあと数秒してからゴースト・リダクション機能が働きます。働いているときに画像が一瞬またたくことがありますが、故障ではありません。気になるときは、「GR設定」を「切」にしてください。		60
画像が二重、三重になる。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線がゆるんでいないか確認してください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ●「GR設定」（ゴースト・リダクション）を「入」または「切」にしてください。		22 60
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線がゆるんでいないか確認してください。 ● アンテナが壊れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。		22
斑点や点模様が走る。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線がゆるんでいないか確認してください。 ● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている可能性があります。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。		22
ノイズが多い。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにご相談ください。 フィーダー線 ● プラスチック製のアンテナアダプターはノイズが入りやすいので、付属のF接栓型アンテナ接続ケーブルを使ってください。 プラスチック製のアンテナアダプター　F接栓型アンテナ接続ケーブル		22

デジタル放送のみ

操作編:この冊子のページです。
準備編:別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
デジタル放送のチャンネルが映らなくなった。	● 強風などで設置したアンテナの向きが変わっていませんか？アンテナの向きを調整してください。		
地上デジタルの受信設定ができない/放送を受信できない。	● アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビ(CATV)を受信しているかを確認してください。 ● 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。 ● アンテナ線がゆるんでいないか確認してください。 ● お住まいの地域で地上デジタルが放送開始されているか確認してください。		22 22
地上デジタルが映らない/画像が乱れている。	● アンテナ線がゆるんでいないか確認してください。 ● 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがありますのでご確認ください。 ● 県域設定は正しいですか？地域によって放送が異なります。必ず、「チャンネルスキャン」の前に「県域設定」を行ってください。 ● 「チャンネルスキャン」で「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。 ● ブースターのレベルを上げて信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。		63 30、62 63
BSデジタル・110度CSデジタルが映らない/画像が乱れている。	**衛星アンテナを直接つないでいる場合** ● 衛星アンテナはデジタル放送受信に対応していますか？ ● 衛星アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● 衛星アンテナに雪が付着していませんか？ ● 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● 「衛星アンテナ電源」を「オート」または「入」にしてください。 ● 衛星アンテナの方向・角度を調整してください。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● サテライト U/V分波器でVHF/UHFとBSデジタル・110度CSデジタルを分波してください。 ● 「衛星アンテナ電源」を「切」にしてください。 **複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** ● 衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、BSデジタル・110度CSデジタルを送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● サテライト専用の同軸ケーブルを使ってください。 ● 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約(加入申し込み)をしていますか？		22 24 24 65 65 26 26 65 24、26 57

次のページにつづく ⇨

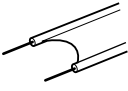
故障かな？と思ったら（つづき）

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
BSデジタルは映るのに110度CSデジタルが映らない。	• アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSデジタルに対応していますか？詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。 • BSアナログチューナー内蔵のビデオデッキからアンテナ接続ケーブルをつないでいませんか？分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵ビデオデッキにそれぞれつないでください。 • 「衛星アンテナレベル」を確認してください。 • 110度CSデジタルをご覧になるには受信契約が必要です。		24、26 24 65 57
画面が黒くなり何も映らない。	• ラジオ放送を選んでいませんか？音声のみのラジオ放送のときは映像は出ません。	19	
デジタル放送のチャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	• デジタルハイビジョン信号HDと標準テレビ信号SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。		
BSデジタル・110度CSデジタルの映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	• 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り換わる場合があります。頻繁に切り換わるときは、「降雨対応放送受信」を「切」にしてください。	66	

つないだ機器のみ

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードがゆるんでいないか確認してください。 • リモコンの入力切換ボタンを押してください。 • S2映像入力端子からの映像を見るときは、「オートS映像」を「入」にしてください。 • 「ビデオラベル/入力スキップ」が「入力スキップする」になっていませんか？いったん「ビデオラベル/入力スキップ」を「入力スキップする」に設定した入力端子に、後日、外部機器をつないでも、その機器の映像に切り換えられません。新たに機器をつないだときは、もう一度、「ビデオラベル/入力スキップ」を設定してください。	37 38 40	
パソコンの画像が出ない。	• 接続するパソコンの種類によっては、画像が表示されない場合があります。パソコンの設定を変更して、PC入力対応信号表にある信号を出力するようにしてください。 パソコンの設定方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。	43	50
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	• ビデオデッキと本機が近いため、干渉しあっています。ビデオデッキを本機からできるだけ離して置いてください。		

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
ビデオの再生/録画時に映像が乱れたり、映らなくなる。	• 映像信号変換機能がついた機器（AVアンプなど）を使用して、通常の映像信号（コンポジット映像信号）またはS映像信号をコンポーネント映像信号に変換して本機に接続した場合、映像信号の状態によっては映像が乱れたり、映らなくなることがあります。このようなときは、通常の映像信号（コンポジット映像信号）またはS映像信号を直接本機のビデオ入力に接続してください。		
画像の横縦比がおかしい。	• 本機から録画した画面の横縦比16:9の映像を、横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き伸ばされて出力されます。		

音声がおかしい

すべての放送や外部入力

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
画像は出るが、音が出ない。	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンまたは音量＋ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンをつないでいるときは、「ヘッドホン使用時設定」を「スピーカー・ヘッドホン併用」にしてください。 • 「スピーカー出力」が「切」になっていませんか？「入」にしてください。	16 30 53	

地上アナログ放送のみ

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
雑音が多い。	• 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにご相談ください。 フィーダー線 • 「オートステレオ」を「切」にしてください。		22 60
聞きたい音声になっていない。	• 二か国語放送などで、副音声になっていませんか？音声切換ボタンを押して、切り換えてください。	15	

困ったときは

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

デジタル放送のみ

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
音声が出ない/音声がおかしい。	● 二か国語放送などで、第2音声になっていませんか？音声切換ボタンを押して、切り換えてください。 ● 「サラウンド」を「切」にしてください。 「TruSurround XT 5.1」または「TruSurround XT」にしていると、番組によっては、音が聞こえにくかったり、消えてしまったりすることがあります。	15 59	
聞きたい音声になっていない。	● 二か国語放送などで、第2音声になっていませんか？音声切換ボタンを押して、切り換えてください。	15	

つないだ機器のみ

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
画像は出るが、音が出ない。	● パソコンをつないでいるときは、パソコン側でも音量の調整を行ってください。		
音声出力端子から音が出ない/録音できない。	● HDMI入力端子およびコンポーネント入力端子につないだ機器を再生しているときは、デジタル放送/ビデオ出力端子から音声は出力されません。また、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。		
二か国語が混じって録画機器に録音されていた。	● 録画機器で再生するときに録画機器のリモコンで聞きたい音声を選んでください。		

番組表がおかしい

操作編:この冊子のページです。
準備編:別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
番組表や他チャンネルリストに表示されないチャンネルがある。	● 番組表や他チャンネルリストが表示されているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください。番組情報を取得し直します。 ●「チャンネル登録」で、番組表や他チャンネルリストに表示されるチャンネルを設定できます。	23、27	63、66
番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。	● 番組表が表示されているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください。番組情報を取得し直します。	23	
検索をしたときに表示される番組数が少ない。	● お買い上げ時、または長時間本体の電源スイッチで主電源を切った状態のときは、次に電源スイッチを押して主電源を入れたあと、番組表に表示される番組が少ないことがあります。本機では、主電源を切っているときは放送局が送信する番組情報のデータを取得できないためです。		
ジャンル検索した番組のジャンルが番組説明で表示されるジャンルと違っている。	● 番組説明では、代表的なジャンルが1つしか表示されませんが、1つの番組が複数のジャンル情報を持っていることがあり、それぞれのジャンルで検索できるためです。	25	
キーワード検索ができない。	● キーワード検索はデジタル放送の番組情報データの「番組概要」から検索するため、「番組概要」にキーワードが含まれていないときは検索できません。「番組概要」と合致したキーワードを登録してください。 ● キーワードの文字と「番組概要」の文字が完全に一致していないと、番組を検索できません。英字/数字、半角/全角の違いやスペースも文字として検索するため、「番組概要」と合致したキーワードを登録してください。	23、25 23、25	
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	● 地上デジタルの各放送局を一定時間視聴すると、放送局のマークが表示されます。		

困ったときは

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

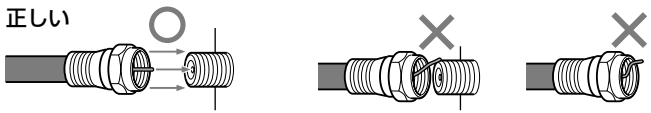
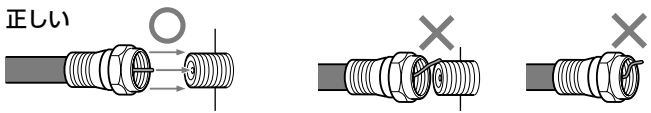
録画・録画予約がおかしい

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
録画予約した番組が録画されない。	● 本機につないだ録画機器側の入力を確認してください。		
	● 「Ⓓデジタル放送設定」の「録画方法」を「シンクロ録画」に設定しているときは、本機で録画予約した場合のみ本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子から映像信号が出力されます。見ている番組を録画したいときは、必ず、「いますぐ録画」で録画してください。	46	41
	● 録画予約した番組の開始時刻が変わったとき、「流動編成・イベントリレー対応設定」が「しない」に設定されていると、正しく録画できません。番組の変更に合わせて録画するには、「流動編成・イベントリレー対応設定」を「する」に設定してください。	49	42
	● 録画予約が重複しているときは、ペイパービューは、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます。	51	
	● 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります。	67	
	● 実行履歴一覧で、録画されなかった理由を確認してください。	51	
	● 受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わっていることがあります。予約した番組のチャンネル番号が変わっていると、録画ができないことがあります。		
シンクロ録画を使って録画予約した番組が録画されない。	● 「Ⓓデジタル放送設定」の「録画方法」を「シンクロ録画」に設定しているときは、本機で録画予約した場合のみ本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子から映像信号が出力されます。見ている番組を録画したいときは、必ず、「いますぐ録画」で録画してください。	46	41
	● 本機と録画機器をS映像コードでつなぐときは、録画機器側の映像入力の設定をしてください。		
AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。	● AVマウスの取り付け位置は正しいですか？		43
	● 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの録画予約がうまくいかないことがあります。		45
	● リモコンコードは正しく設定できていますか？ お使いの録画機器によってはリモコンコードを設定できないことがあります。		44
	● お使いの録画機器のメーカー名とリモコンコードが正しく入っていて、AVマウスで操作できるか動作確認してください。		44
	● 次の機器ではAVマウスは使えません。シンクロ録画に対応している機器はシンクロ録画を行ってください。シンクロ録画に対応していない機器は録画機器の予約機能を使って録画してください。 － ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど） － AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。）		

操作編:この冊子のページです。
準備編:別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。(つづき)	● お使いの録画機器は、電源スイッチを押すたびに電源が入/切するタイプですか?入→スタンバイ→切のように切り換わるタイプの録画機器では、正しく録画できないことがあります。 ● 録画予約後、開始時刻までに本体の電源スイッチで主電源を切っていると、電源が入らないため、録画が実行されません。 ● 録画予約の際、録画機器の電源を「切」にしましたか? ● 録画機器の入力切換は正しいですか? ● ソニー製のDVDレコーダーやハードディスクレコーダー、ブルーレイディスクレコーダーなどで録画するときは、自動的に本機をつないだ入力に切り換わるように設定してください。 ● 本機と録画機器をS映像コードでつなぐときは、録画機器側の映像入力の設定をしてください。 ● 地上アナログは録画予約できません。お使いの録画機器の予約機能を使って録画してください。		44
見ている映像が録画できない。	● 次の映像や音声は、デジタル放送/ビデオ出力端子からは出力されません。 − コンポーネント入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 − PC入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 − 字幕放送の字幕 − デジタル放送のラジオやデータの画像(音声は出力され記録できます) − S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。 ● 「デジタル放送設定」の「録画方法」を「シンクロ録画」に設定しているときは、本機で録画予約した番組以外は録画できません。		41
録画予約した番組の再生した映像が映らない、乱れる。	● 実行履歴一覧で、録画時の状況を確認してください。	51	

困ったときは

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

電源/録画予約/録画ランプが点滅している

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
電源/録画予約/録画ランプが緑色に点滅する。 または、「衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください」と表示される。	**衛星アンテナを直接つないでいる場合** ①本体の電源スイッチで主電源を切り、サテライト用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 正しい　○　×　×		24
	②本体の電源スイッチで主電源を入れて、「衛星アンテナ電源」を「オート」または「入」にしてから、もう一度受信設定してください。 ③それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。		65
	マンションなどの共同受信システムの場合 ①本体の電源スイッチで主電源を切り、サテライト用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 正しい　○　×　×		26
	②本体の電源スイッチで主電源を入れてください。 ③それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。		

リモコンが働かない

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
リモコンで本機を操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● スタンバイランプが赤色に点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンを本機のリモコン受光部/明るさセンサーに正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部/明るさセンサーに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。 ● 近くに電子レンジがあるときは操作できないことがあります。	 10 87 87	18 18
リモコンの❶〜⓬の数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ワンタッチ選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）に切り換えましたか？ **10キー選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）に切り換えましたか？ ● 10キーを押してから数字ボタンを押しましたか？ ● 地上デジタルのチャンネルでチャンネル番号に枝番があるときは、チャンネル番号を入力した後で、⓫を押してから枝番を入力してください。 ● 11チャンネルは❶を2回、12チャンネルは❶と❷を続けて押してから、⓬を押してください。 ● ❶～❿の数字ボタンに続けて⓬を押してください。	 11 11 13 13 13 13	
リモコンの❶〜⓬の数字ボタンやチャンネル＋/－ボタン、消音ボタン、地上アナログ/地上デジタル/BS/CSボタンを押すと本機の電源が入る。	● 故障ではありません。電源スイッチ以外にも左記のボタンで本機の電源を入れることができます。	29	

困ったときは

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

その他

操作編：この冊子のページです。
準備編：別冊の「準備編」のページです。

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	準備編
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	● 地上デジタルの各放送局を一定時間視聴すると、放送局のマークが表示されます。		
チャンネル＋/－ボタンで選局できない。	● お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）内で順送りに選局します。ご覧になっている放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）と放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）をご確認ください。 ● 「チャンネル登録」で、チャンネル＋/－ボタンで選局できるチャンネルを設定できます。 ● 複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているとき（イベント共有）は、代表チャンネルのみが選局できます。	13 66	 63、66
有料放送（ペイパービューなど）が購入できない。	● 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください。 ● 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください。 ● ネットワーク（LAN）ケーブルをつないで、ネットワーク設定を行っていてもペイパービューは購入できません。電話回線の接続が必要です。 ● 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 ● 番組の購入可能件数を超えると購入できなくなります。		51 52
設定したメニューの項目が正しく反映されていない。	● デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチで主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定し直してください。		
メニューが表示されない。	● PC入力のときはPC入力用のメニューのみ表示されます。他のメニューを表示させたいときは入力を切り換えてください。	37	
「展示モード」または「展示モード：入」と表示される。	● 展示モードが「入」に設定されています。「（デジタル放送設定）」で「個人情報初期化」を行ってください。	86	68
画面右下に✉が表示される。	● デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。メールの内容を確認してください。	64	

エラーメッセージ一覧

本機では、エラー症状に合わせたメッセージが表示されます。主なメッセージと対処法については下記をご覧ください。

メッセージ一覧

• 入力する信号を変更してください	• パソコンの入力信号が未対応または推奨でない信号です。☞43ページ
• 衛星アンテナがショートしました　取扱説明書をご覧ください	• 「故障かな？と思ったら」の「電源/録画予約/録画ランプが点滅している」をご覧になり、対処してください。☞82ページ

デジタル放送特有のメッセージ一覧

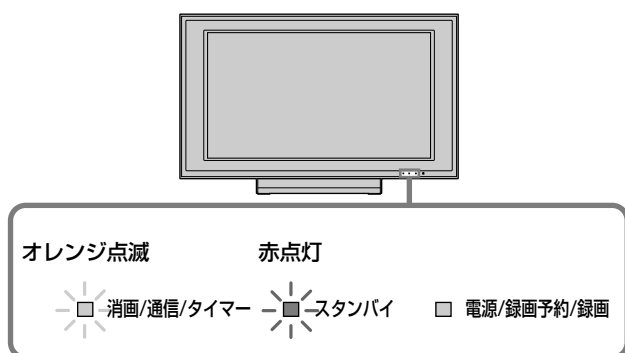
• 衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください	• 「故障かな？と思ったら」の「電源/録画予約/録画ランプが点滅している」をご覧になり、対処してください。☞82ページ
• 受信できるチャンネルがありません　地上デジタルに対応したアンテナを設置後、地上デジタルの受信設定を行ってください	• 地上デジタルの受信設定を行ってください。☞「準備編」62ページ
• BS（CS）受信できません　大雨･大雪の影響やアンテナの調整ズレなどの場合もあります　E202	• 受信レベルが低く信号が受信できません。天候の影響などで受信障害が起きていませんか？　放送されていないチャンネルか、アンテナの設定や調整が正しくできていない場合があります。☞「準備編」65ページ
• 降雨対応放送に切り換わりました　E201	• 雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、降雨対応放送に切り換わりました。画質や音質が低下した状態で受信します。☞66ページ
• 信号レベルが低下しています　視聴できる状態ではありません　E201	• 一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。
• B-CASカードに必要な情報がありません　ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください　コード:	• 選局した番組は未契約です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。☞「準備編」57ページ
• このデータ放送は視聴条件により視聴できません	• データ放送がお住まいの地域の設定などによって視聴できません。
• B-CASカードとのアクセスが成立しません　カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください　コード:	• B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。☞「準備編」21ページ 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のサービスセンターへお問い合わせください。☞「準備編」57ページ • B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のサービスセンターまたはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。 • B-CASカード以外は使えません。
• B-CASカードを入れてください	• B-CASカードを正しく入れてください。☞「準備編」21ページ
• 本機ではデータを表示できません　E401	• 別のデータ放送チャンネルを選局してください。
• 本機ではこのサービスには対応していません　E200	• 放送チャンネルではないため、このチャンネルは視聴できません。
• このチャンネルは現在休止中です　E203	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。
• 該当するチャンネルはありません　E204	• 放送のないチャンネルを選局しています。
• チャンネルが設定されていません	• ワンタッチ選局に、チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。☞「準備編」59、62、66ページ

電源スタンバイ中のランプの点灯・点滅

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)、以下のデータを受信したときに、「カチッ」と音がして、**本機前面の消画/通信/タイマーランプが長時間にわたり点滅し続けることがあります。**

－デジタル放送を正しく受信するためにデジタル放送から送られてくるデータの受信中および最新のソフトウェアのダウンロード中

－放送局が送信する有料放送の契約・購入状況、双方向サービス情報の取得中

ダウンロード中/データ取得中の表示

消画/通信/タイマーランプ点滅中は、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えを行っていますが、**受信するデータによっては数時間かかる**ことがあります。

データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、消画/通信/タイマーランプも消灯します。

展示モードの解除

お買い上げ時に本機の展示モードが「入」に設定されていることがあります。画面左下に「展示モード」または「展示モード：入」と表示されたときは、下記のいずれかの方法で展示モードを解除してください。

－地上アナログのチャンネルスキャンを行う

「自動でチャンネル設定する」(☞「準備編」58ページ)をご覧ください。

－地上デジタルのチャンネルスキャンを行う

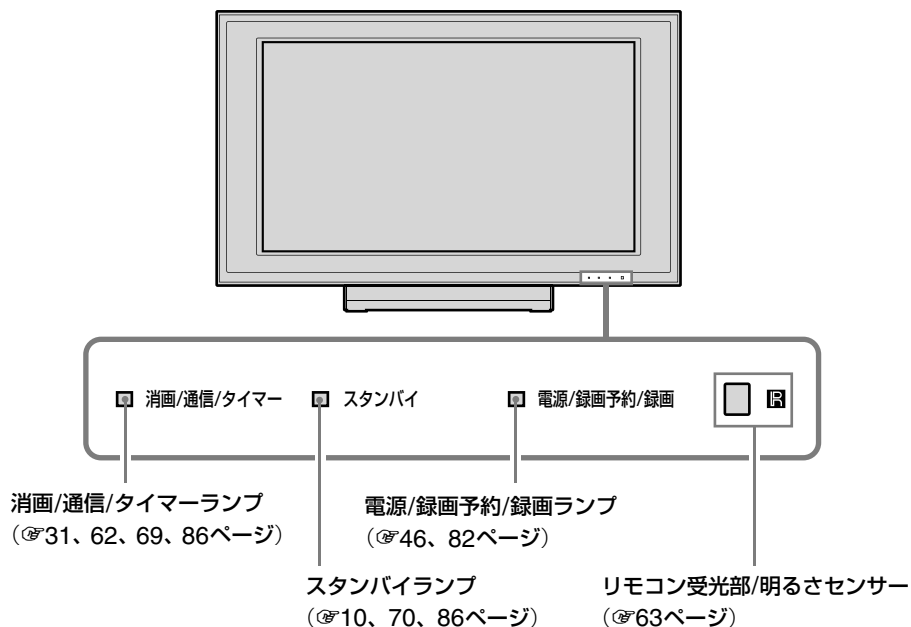
「自動でチャンネル設定する」(☞「準備編」63ページ)をご覧ください。

－個人情報の初期化を行う

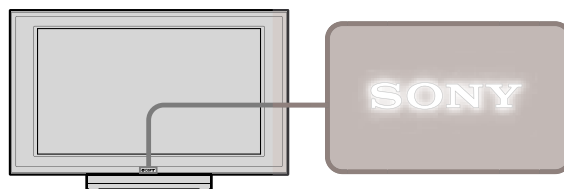
「本機に記録された個人情報を消去する」(☞「準備編」68ページ)をご覧ください。

各部の名前

本体

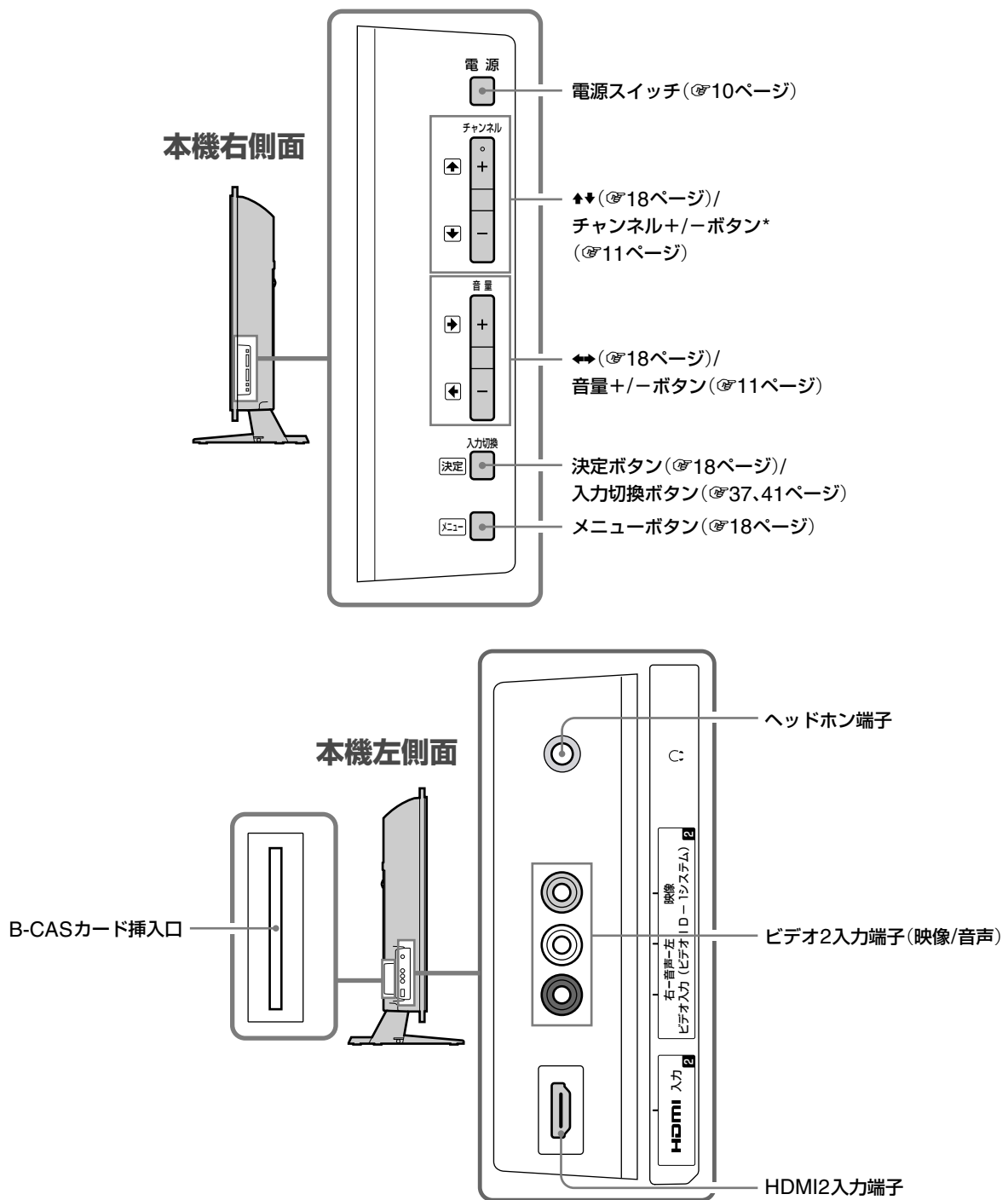
本機前面

SONYマークについて

イルミネーションの入/切が設定できます。

メニュー→「テレビの設定をする」→「(各種設定)」→「イルミネーション」→「入」または「切」の順に選ぶ。

次のページにつづく ⇨

ご注意

リモコン受光部/明るさセンサーの前には
物を置かないでください。

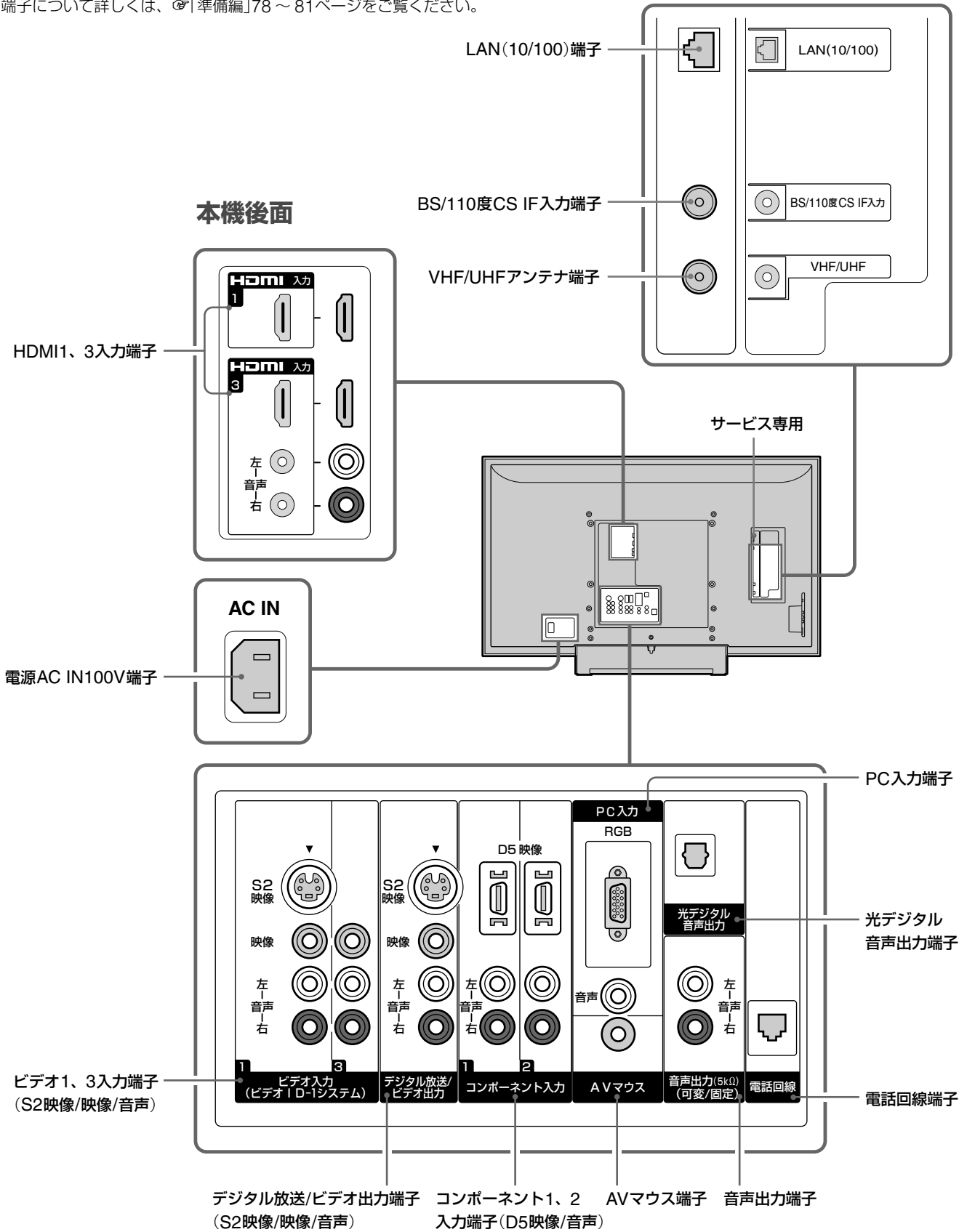
各部の名前（つづき）

端子について詳しくは、☞「準備編」81ページをご覧ください。

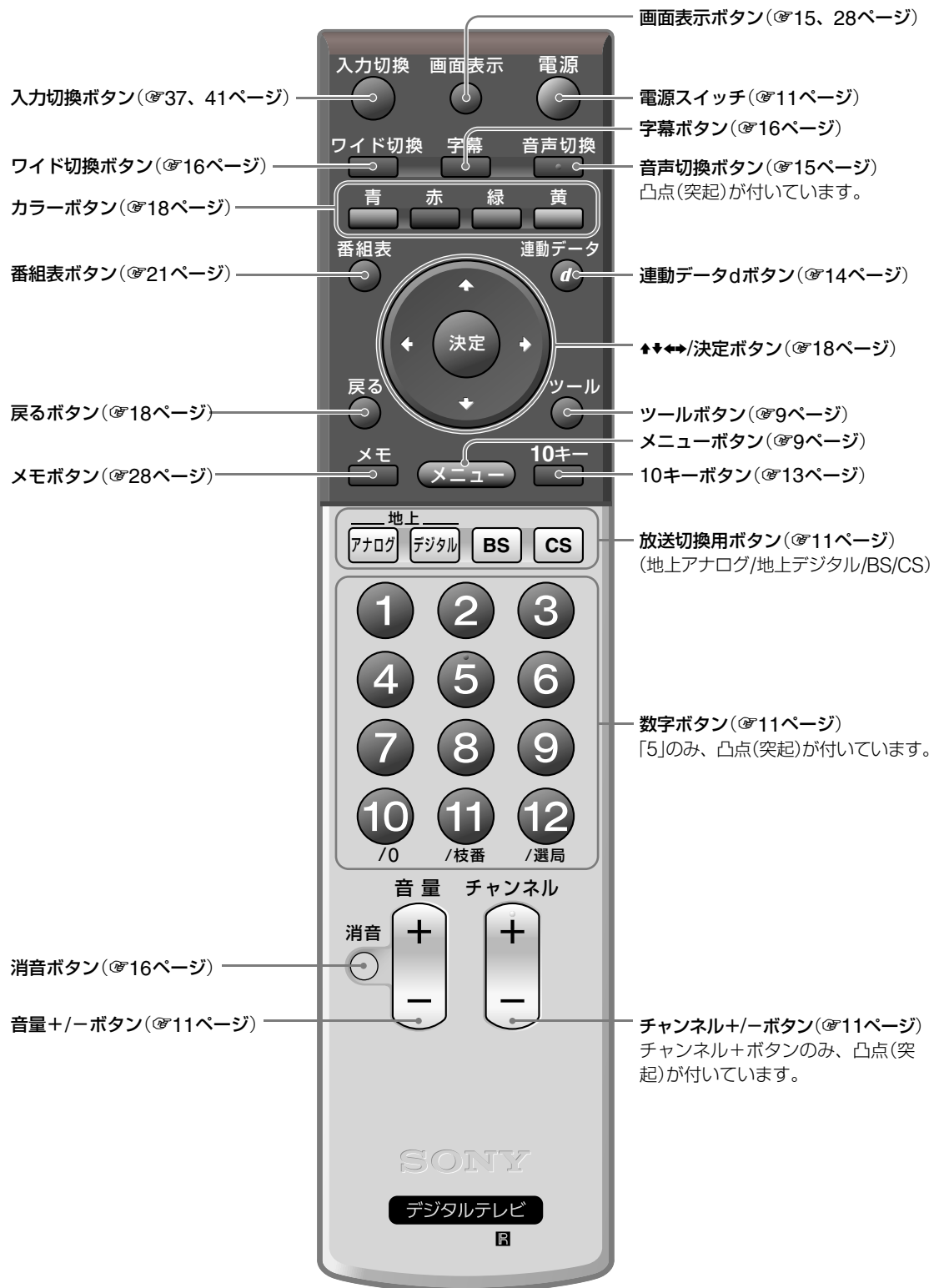
---

* の付いたボタン（チャンネル＋ボタン）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

端子について詳しくは、☞「準備編」78 ～ 81ページをご覧ください。

本機後面

次のページにつづく ⇨

各部の名前（つづき）

リモコン

ランプの見かた

主電源「切」のとき

□ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　□ 電源/録画予約/録画

電源スタンバイ中/PCパワーマネジメント中（☞10、42ページ）

赤点灯

□ 消画/通信/タイマー　■ スタンバイ　□ 電源/録画予約/録画

電源が入っているとき

緑点灯

□ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　■ 電源/録画予約/録画

消画中（☞62ページ）

緑点灯　緑点灯

■ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　■ 電源/録画予約/録画

衛星アンテナ電源のショートなど（☞82ページ）

緑点滅

□ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　■ 電源/録画予約/録画

通信中（☞18ページ）

オレンジ点滅　緑点灯

■ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　■ 電源/録画予約/録画

ソフトウェアアップデート中（☞69ページ）**/**
ダウンロード中（☞69ページ）**/データ取得中**（☞86ページ）

オレンジ点滅　赤点灯

■ 消画/通信/タイマー　■ スタンバイ　□ 電源/録画予約/録画

自己診断表示（☞70ページ）

赤点滅

□ 消画/通信/タイマー　■ スタンバイ　□ 電源/録画予約/録画

電源の状態によって点灯・点滅パターンが変わるもの

下記のランプに加えて、スタンバイランプまたは電源/録画予約/録画ランプが点灯します。

スリープタイマー /オンタイマー作動中（☞31ページ）
ただし、消画中は緑色に点灯します。

オレンジ点灯

■ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　□ 電源/録画予約/録画

録画予約待機中

オレンジ点灯

□ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　■ 電源/録画予約/録画

予約した録画の実行中（☞46ページ）

赤点灯

□ 消画/通信/タイマー　□ スタンバイ　■ 電源/録画予約/録画

ご注意

主電源を「切」にしないで電源コードを抜くと、点灯しているランプがしばらくついたままになりますが、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KDL-40X2500　KDL-40X2550
KDL-46X2500　KDL-46X2550
KDL-52X2500　KDL-52X2550

型名について詳しくは、☞70ページをご覧ください。

故障の状態:できるだけくわしく
購入年月日:

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式 地上デジタル放送方式 BSデジタル放送方式 110度CSデジタル放送方式
受信チャンネル	VHF 1 ～ 12チャンネル UHF 13 ～ 62チャンネル CATV（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要） 地上アナログ：C13 ～ C63 地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル（テレビ、ラジオ、独立データ）の各チャンネル
BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数	1022 ～ 2072MHz
BSデジタル・110度CSデジタル対応ローカル周波数	10.678GHz
使用スピーカー	KDL-40X2500/KDL-40X2550： フルレンジ 4×10cm楕円（4） ツイーター：4cm丸（2）
	KDL-46X2500/KDL-52X2500/ KDL-46X2550/KDL-52X2550： フルレンジ 5×10.5cm楕円（4） ツイーター：4cm丸（2）
音声出力	実用最大出力 内蔵スピーカー： 11W＋11W（JEITA） 負荷インピーダンス 8Ω

入出力端子

アンテナ端子	VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター （コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え）
ビデオ1 ～ 3 入力端子	S2映像（ビデオ1入力のみ）： 4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
	音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
コンポーネント 1、2入力端子	D5映像： D端子 Y：1Vp-p（0.3V負同期付き） P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p、 入力インピーダンス 75Ω
	音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
HDMI1 ～ 3 入力端子	映像：デジタルRGB/ Y C_B（P_B） C_R（P_R） （525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）、1125p（1080p））
	音声：PCM （32kHz、44.1kHz、48kHz）
	（アナログ）音声（HDMI3入力のみ）： ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
デジタル放送/ ビデオ出力端子	S2映像： 4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
	音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス4.7kΩ以下 テレビ放送の音声の100％変調時、またはBSデジタル放送の最大出力－12dB時の数値です。
音声出力端子	2ch出力、ピンジャック 最大出力レベル 2.0Vrms、 出力インピーダンス 5kΩ
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック、 負荷インピーダンス 16Ω以上
光デジタル音声 出力端子	角型端子、 AAC/PCM対応
電話回線端子	モジュラージャック、 直流抵抗値 268Ω
LAN（10/100）端子	10 BASE-T/100 BASE-TX コネクター （ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10 BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
AVマウス	ミニジャック

次のページにつづく ⇨

主な仕様（つづき）

PC映像入力端子	D-SUB15ピン RGB信号：0.7Vp-p、75Ω 同期信号：TTLレベル、2.2kΩ
PC音声入力端子	ステレオミニジャック 500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上

電源部・その他

モデム通信速度	2400bps
消費電力	KDL-40X2500/KDL-40X2550：240W
	KDL-46X2500/KDL-46X2550：288W
	KDL-52X2500/KDL-52X2550：329W
消費電力（リモコン待機時）	0.09W ただし、以下の電源スタンバイ中は、消費電力が異なります。 予約した録画の実行中：40W 番組表（EPG）取得中：40W
年間消費電力量	区分名：BII
	KDL-40X2500/KDL-40X2550： 画面サイズ40V型 210kWh/年［スタンダード時］
	KDL-46X2500/KDL-46X2550： 画面サイズ46V型 255kWh/年［スタンダード時］
	KDL-52X2500/KDL-52X2550： 画面サイズ52V型 289kWh/年［スタンダード時］
パネル解像度	1920×1080×3（RGB） （ドット：水平×垂直）
有効画面サイズ（幅・高さ・対角）	KDL-40X2500/KDL-40X2550： 88.5・49.8・101.5cm
	KDL-46X2500/KDL-46X2550： 101.8・57.3・116.8cm
	KDL-52X2500/KDL-52X2550： 115.2・64.8・132.2cm
視野角	178度（JEITA規格準拠 コントラスト比10:1）
最大外形寸法（最大突起部分を除く）（幅×高さ×奥行き）	KDL-40X2500： 111.1×65.7×12.1cm 111.1×71.7×32.2cm （スタンド含む）
	KDL-46X2500： 126.2×73.4×12.1cm 126.2×79.5×32.2cm （スタンド含む）
	KDL-52X2500： 141.5×82.7×12.3cm 141.5×89.0×38.4cm （スタンド含む）
	KDL-40X2550： 111.1×65.7×12.3cm 111.1×71.7×32.2cm （スタンド含む）
	KDL-46X2550： 126.2×73.4×12.3cm 126.2×79.5×32.2cm （スタンド含む）
	KDL-52X2550： 141.5×82.7×12.5cm 141.5×89.0×38.4cm （スタンド含む）
質量	KDL-40X2500/KDL-40X2550： 30.0kg 35.0kg（スタンド含む）
	KDL-46X2500/KDL-46X2550： 36.0kg 41.0kg（スタンド含む）
	KDL-52X2500/KDL-52X2550： 46.5kg 54.0kg（スタンド含む）
電源	AC100V、50/60Hz
付属品	「付属品を確認する」 （☞「準備編」18ページ）をご覧ください。

別売りアクセサリー

2006年7月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

壁掛けユニット	SU-WL51
フロアスタンド	SU-FL61
接続ケーブルなど	VM-50（AVマウス）
衛星アンテナなど	

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
  「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称を言います。
- 年間消費電力量
  省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- この製品はBBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
  この製品は米国BBE Sound, Inc. の所有する特許USP5510752及び5736897を使用しています。
  BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- TruSurround XT、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc. の商標です。
  TruSurround XT技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 本機は電気通信事業法の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
KDL-40X2500	A06-0085005
KDL-46X2500	A06-0085005
KDL-52X2500	A06-0118005
KDL-40X2550	A07-0039005
KDL-46X2550	A07-0039005
KDL-52X2550	A07-0040005

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

イベントリレー（☞**66ページ**）

番組の開始時間がくり下がったときや、番組放送中に割り込みがあったとき、番組が放送時間内に終わらなかったときなどに、引き続き他のチャンネルで放送が継続されることです。

インターレース（飛び越し走査）
（☞**65ページ**）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

緊急警報放送（☞**66ページ**）

地上デジタル、BSデジタルのマルチ放送を利用した放送です。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

降雨対応放送（☞**66ページ**）

激しい雨による映像･音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

サ行

識別制御信号（☞**61ページ**）

識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。

– デジタル放送の標準テレビ信号SD
– 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
– D5入力端子からの横縦比情報の入った映像

字幕放送（☞**16ページ**）

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

走査線（☞**65ページ**）

テレビは、映像を細かい横線に分解して送ることで画面を作っています。この線のことを走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

地上デジタル（☞**10ページ**）

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタルハイビジョン信号HD
（☞**65ページ**）

デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

標準テレビ信号SD（☞**65ページ**）

デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

プログレッシブ（順次走査）
（☞**65ページ**）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

マ行

マルチチャンネル放送（☞**66ページ**）

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する場合と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う場合があります。

マルチビュー放送（☞**66ページ**）

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
ツールから「映像切換」を選ぶと、それぞれのカメラからの映像を切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数（☞**65ページ**）

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。地上アナログでは、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログのハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号HDでは、1125本中1080本となっています。
なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ行

臨時放送（☞**66ページ**）

地上デジタルやBSデジタルのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

数字・アルファベット順

110度CS（CS1、CS2）デジタル（☞10ページ）

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。テレビ放送に加え、文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

5.1ch（チャンネル）（☞59、65ページ）

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC（☞54ページ）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド･オーディオ･コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード（ビーキャスカード）

デジタル放送を見るために必要なICカードです。プラスチック･カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。

BSデジタル（☞10ページ）

2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

DRC-MF v2.5（デジタル・リアリティ・クリエーション・マルチファンクション）（☞56ページ）

地上アナログやビデオなどのNTSC信号を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって高精細でリアルな映像に作り変えます。
ハイビジョン信号もさらに高精細な映像信号に作り変えることで、映像のディテールや色合いを高品位に表現します。
さらにDRC-MF v2.5ではさまざまな画質のHD放送やSD放送に対しても、それぞれの映像信号に合わせた最適な高画質化処理を行います。
また本機ではDRC-MFパレットで映像に合った好みの画質に調整することもできます。

HDMI（☞37ページ）

テレビ接続機器のデジタル映像･音声信号を直接つなぐインターフェースです。
HDMI端子（DVDプレーヤー、AVアンプなど）とテレビを1本のケーブルで接続することで高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

ID-1方式（ビデオID-1システム）（☞61ページ）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

PCM（☞54ページ）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス･コード･モジュレーション（Pulse Code Modulation）」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

S2映像端子（S2方式）（☞61ページ）

S映像のC端子へ直流電圧を加算することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

xvYCC規格（☞38ページ）

動画色空間の国際規格の1つです。現行の放送等で使われている規格より広い色彩が表現できます。

索引（操作編）

索引では、メニューの項目を［XX］のようにあらわします。

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字•アルファベット順

数字

アルファベット